

## ワークショップ(第11回)概要

○日時 2024年10月15日(火) 14時00分から17時00分

○場所 乃村工芸社 会議室

○議題 ・検討報告(展示実物大モックアップ検証の結果、ナビレンスの導入、みんなトイレの入口サインと満空表示モニター)  
・ホームページでの事前情報提供

○出席者

|                 |  |    |              |    |
|-----------------|--|----|--------------|----|
| エキスパート          | 石塚裕子   |    |              |    |
| お困りごと当事者<br>20人 | 車いす使用者   | 4人 | 発達障がい者(親と参加) | 1人 |
|                 | 視覚障がい者   | 4人 | 発達障がい者の親     | 1人 |
|                 | 聴覚障がい者   | 2人 | LGBTQ+       | 2人 |
|                 | 精神障がい者   | 1人 | 医療的ケア児(親と参加) | 2人 |
|                 | 知的障がい者(親と参加)   | 1人 | 子育て世帯        | 1人 |
|                 | 知的障がい者の親   | 1人 |              |    |
| 作り手企業           | —  |    |              |    |
| 業務受託者           | 株式会社アクセスムーブコンフォート<br>株式会社乃村工芸社・三菱UFJリサーチ&コンサルティング共同企業体 |    |              |    |
| 傍聴              | 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会<br>大阪府都市整備部住宅建築局建築環境課             |    |              |    |

○配慮事項

資料のワードテキスト文書(事前送付)、単独来場の視覚障がい者を駅から誘導、手話通訳

○議事要旨

### ● 検討報告

- ・5月に実施した展示実物大モックアップ検証を振り返り、意見を反映した内容等の検討状況を伝えた。
- ・視覚情報が得にくい人に対して、移動がしやすいように、展示の内容がわかるように配慮するため、ナビレンスを導入することを伝えた。
- ・みんなトイレの入口サインは、さまざまな意見を踏まえ、コンセプトボードとあわせて後日確認することとした。
- ・満空表示モニターは、黒地に白とし、ブースの「空き」と「使用中」の表示をどのようにすればわかりやすいか確認した。

### ● ホームページでの事前情報提供

ホームページの更新にあたって、必要な情報をわかりやすく入手できるようにするため、事務局で考えた来館前に知りたい情報の項目と内容をもとに意見交換した。また、必要な情報を記載したユニバーサルデザインマップや感覚過敏の方も安心して楽しめるセンサーマップもイメージを示して意見交換した。

### ● 今後の予定

12月に事前情報提供の案の確認、3月にスタッフ研修を開催することを確認した。

大阪ヘルスケアパビリオン

# UD推進チーム ワークショップ

令和6年(2024年)10月15日  
14時00分から17時00分まで

乃村工藝社 会議室  
パークスタワー20階

## 当日の流れ (オンラインあり)

1. はじめに 14:00 ごあいさつ、進行の確認
2. 報告事項 14:05 (1) 5月のモックアップ検証の結果報告 25分 (各5分程度)  
①ミライのライド ②カラダ測定ポッド ③同ポッド (モニター) ④サイン  
(2) 視覚による情報が得にくい人への配慮 (ナビレンスの導入) 20分  
(3) みんなトイレの入口サインと空き表示モニター 15分  
15:05 休憩 (10分)
3. ワークショップ 「ホームページでの事前の情報提供」  
15:15 情報提供の内容や方法 (検討用の案) 10分  
①ホームページの構成  
②ユニバーサルデザイン情報 (来館前に知りたい情報)  
③ユニバーサルデザインマップ  
④センサリーマップ  
15:25 班ごとのディスカッション 45分(まとめ・休憩含む)  
16:10 発表 (5分/4チーム)  
講評 10分
4. おわりに 16:40 今後の予定  
16:45 終了

## ■ワークショップ班構成と役割

順不同・敬称略

|           | ファシリテーター | リーダー     |          |          |          |              |       |                    |
|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|-------|--------------------|
| <b>A班</b> | 事務局      | 子育て世帯    | LGBTQ+   | 知的障がい者と親 | 視覚障がい者   | 聴覚障がい者       | 業務受託者 | 書記：事務局<br>UDトク：事務局 |
| <b>B班</b> | 事務局      | 車いす使用者   | 発達障がい者と親 | 視覚障がい者   | 知的障がい者の親 | 車いす使用者 (WEB) | 業務受託者 | 書記：事務局             |
| <b>C班</b> | 事務局      | 車いす使用者   | 医療的ケア児と親 | 視覚障がい者   | 精神障がい者   | LGBTQ+       | 業務受託者 | 書記：事務局             |
| <b>D班</b> | 事務局      | 発達障がい者の親 | 医療的ケア児と親 | 視覚障がい者   | 聴覚障がい者   | 車いす使用者       | 業務受託者 | 書記：事務局             |

進行：事務局  
サポート：事務局 2名

## ■大阪パビリオン関係者

エキスパート

公益社団法人大阪パビリオン 展示 3名、建築 3名、広報 3名、運営 4名

展示・運営業務受託者 (JV) 等 乃村工藝社：8名

whatever：3名 BIPROGY：1名

三精：2名 AVI：4名 AMC：1名 博報堂 (広報業務受託者)：1名

## ■オブザーバー

博覧会協会、近畿地方整備局、大阪府建築環境課

# 報告事項（Ⅰ）

## 5月のモックアップ検証の結果報告

5月28日

# ①ミライのライド (当日の様子)



# ①ミライのライド (主なご意見と対応)

映像の中のスピード感が速すぎると目が回る。  
配慮が必要

映像の光や大きい音が  
苦手な人がいる

人だかりを考慮し、  
字幕は上部表示がよい

公式HP・センサーMAPによる事前情報共有をします

高さ検討中

音声ガイド(映像説明)  
をつけてほしい

映像の高さは  
もう少し高い方がよい

画面が見づらいので  
ゼブラゾーンを設けて  
ほしい

音声内容を検討中

15cm高く変更

床の色を変えるなど検討中

## ②カラダ測定ポッド (当日の様子)



## ②カラダ測定ポッド（主なご意見と対応）

カーテンによる遮閉感で1人では入りづらい

カーテンの開閉が難しい

介助者が一緒に入る場合、センサーやカメラに問題ないか

カーテンは開け閉めしやすよう下部は600空ける  
(遮蔽感も緩和)

問題ありません

入口の正面に操作盤やモニターがある方が、車いすは使いやすい

機器収納スペースと、センシング機材取付上難しい

リーダーが右側にしかない。左手しか使えない時はどうするのか？

左と右のそれぞれのポッドを用意します

出入口の間口1,350mmは狭い

間口に対し、台の突き出し分がジャマをしていて入りづらい

リーダーに手が届きにくい。手前にしてほしい

1,800mmタイプを用意します

開口位置をずらして入りやすくします

できる限り手前に寄せます

## ②カラダ測定ポッド 対応策



リーダー位置を  
できる限り手前に移動

天板の突き出し部分を丸める  
処理をして入りやすく

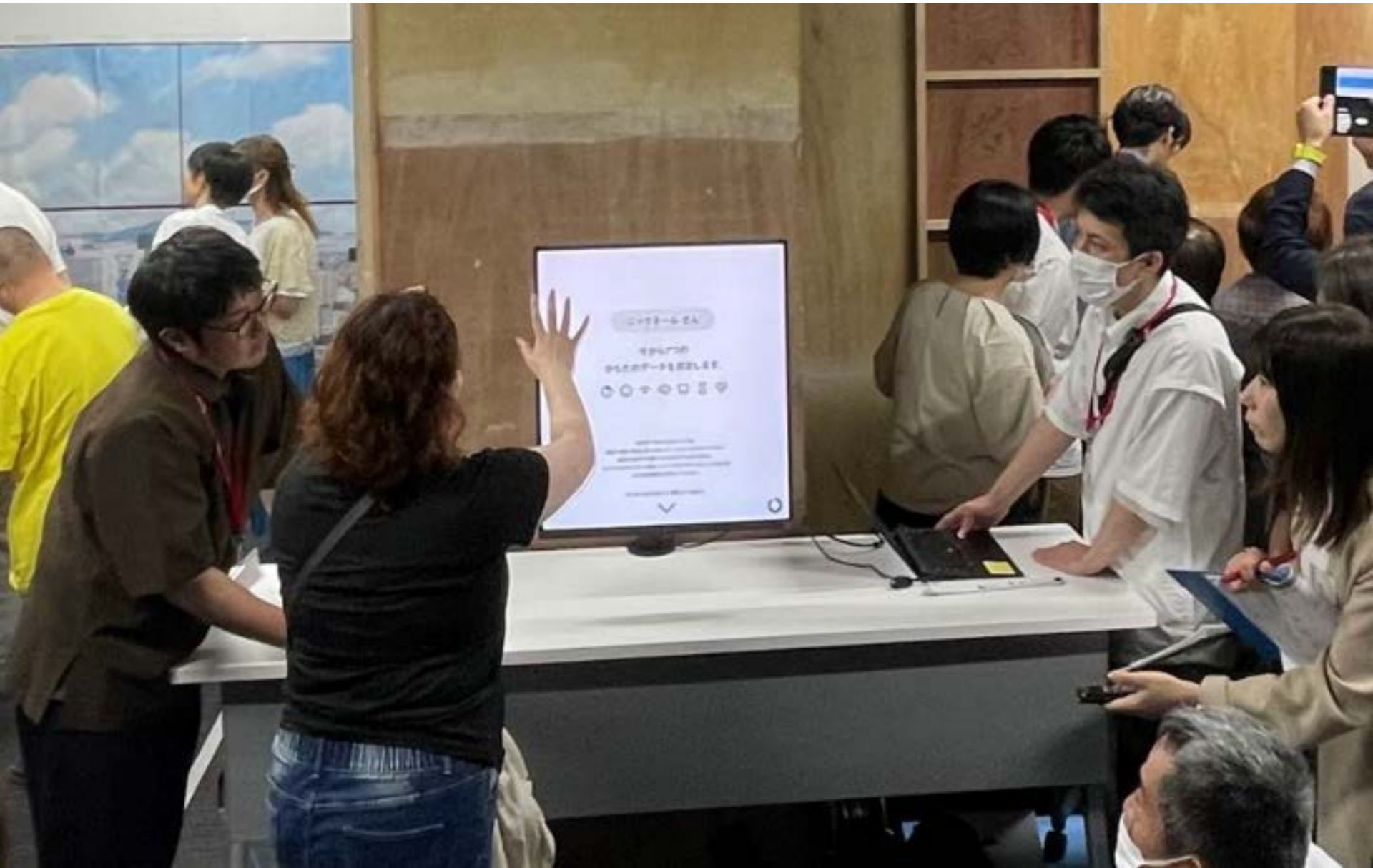
カーテンは開け閉めしやす  
よう下部は600空ける  
(遮蔽感も緩和)

カウンターの奥行きを最小限  
にして、  
室内有効スペースを確保

大きめポッドも含めて左右  
反転型ポッドを用意するこ  
とで、リーダーの位置も左  
右のタイプを確保

出入口を1400mmに拡大  
(内部は1800mm)

### ③カラダ測定ポッド・モニター（当日の様子）



### ③カラダ測定ポッド・モニター（主なご意見と対応）

リセット(戻る)ができるようにしてほしい

計測を始める前にキャンセルできるように変更。途中では戻れません

カメラ(上下)の位置と向きを調整できないか

対応済

カメラ選択について車いすに座る高さや身長に差異がある

対応済

カメラの撮影枠に収まる位置に移動することが難しい

対応済

家族や介助者と一緒に入る時、体験者の区別ができるのか

区別できます

視覚障がい者がわかる音声案内にしてほしい

自身の情報については音声で聞きたい

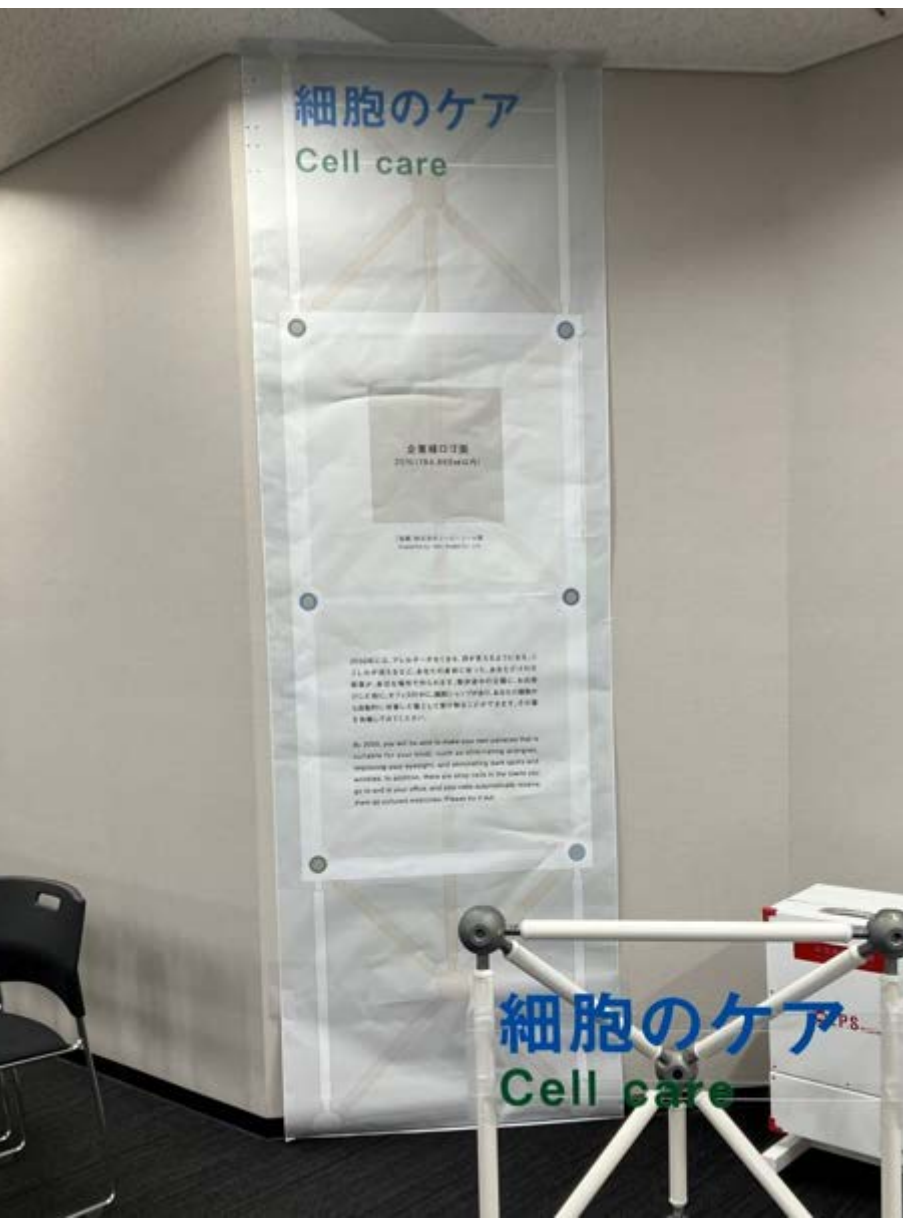
「立ってください」の表示はNG。座ったままでできる事がわかる表現に

配慮します。また、スタッフがサポートします

個人情報については、読上げないこととしています

表現を変更します

### ④サイン (当日の様子)



#### ④サイン（主なご意見と対応）

前に人がいると見えない。  
ロゴの位置と説明の位置を  
上下逆にした方がいい。

**デザインを調整します**

光の当たり方で  
見え方が変わる

**文字の周りに白い縁を付け視認性を良くします**

文字の青や緑の色は  
弱視の人には見えにくい

視覚障がい者が情報を  
得られない

**ナビレンスを設置します**

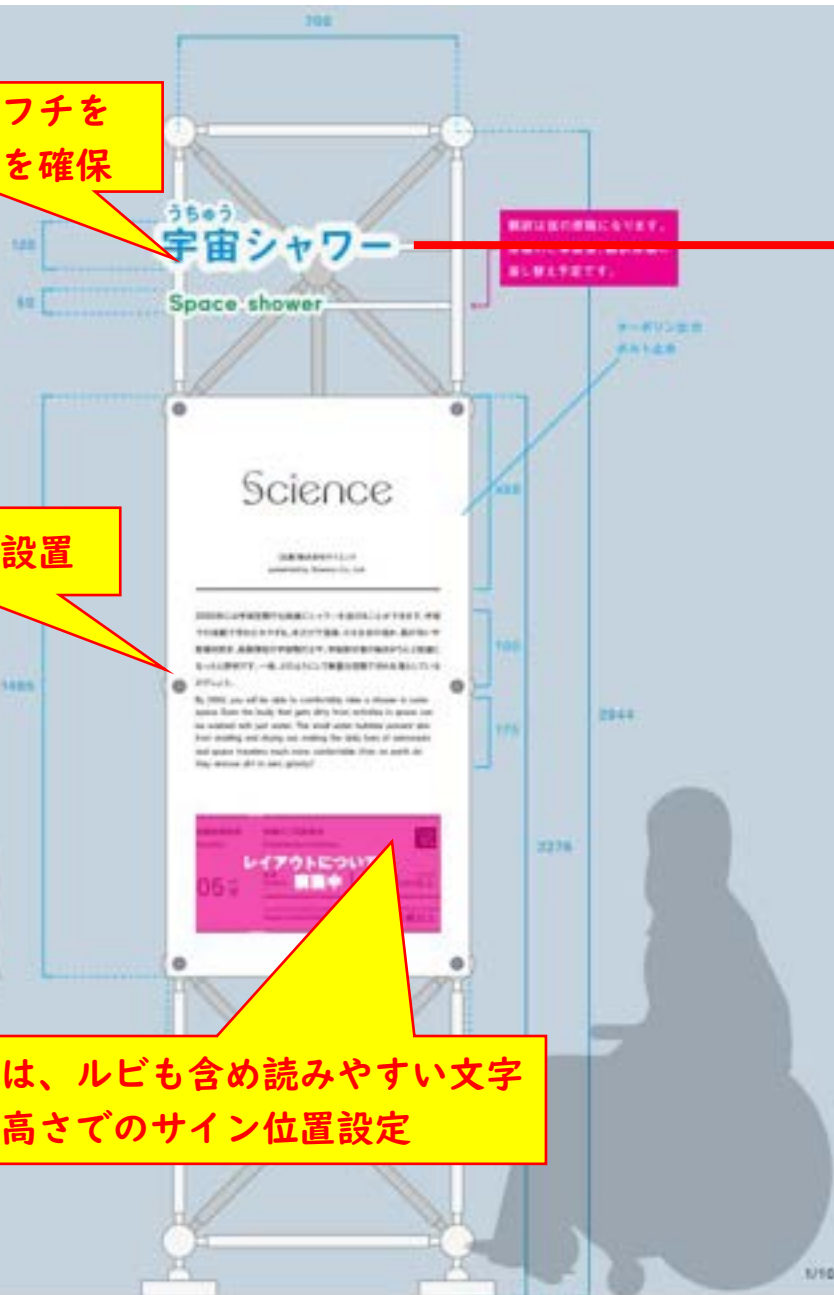
QRコードを配置して、  
WEBページや音声読み  
上げできないか

説明文はルビをふる対  
応となるのか

**タイトルや説明文には  
すべてルビをふります**

#### ④サイン対応策

文字に白色のフチを  
足して視認性を確保



ナビレンスを設置

サインの位置は、ルビも含め読みやすい文字  
サイズと文字高さでのサイン位置設定



## 報告事項（2）

視覚情報が得にくい人への配慮  
（ナビレンスの導入）

# 展示の内容を伝える配慮

- ・音声付き映像や音声サポートで伝える
- ・企業展示の概要をナビレンスの音声で伝える、企業展示の対応は各社で検討中

## リボン体験ルート

### 1.リボンゲード



音声付き映像

### 2.カラダ測定ポッド



画面内容を  
音声サポート

### 3.ミライのライド



映像を伝える  
工夫を検討

### 4. ミライのじぶん



文字情報を  
音声サポート

### 5.ミライのヘルスケア 1、2



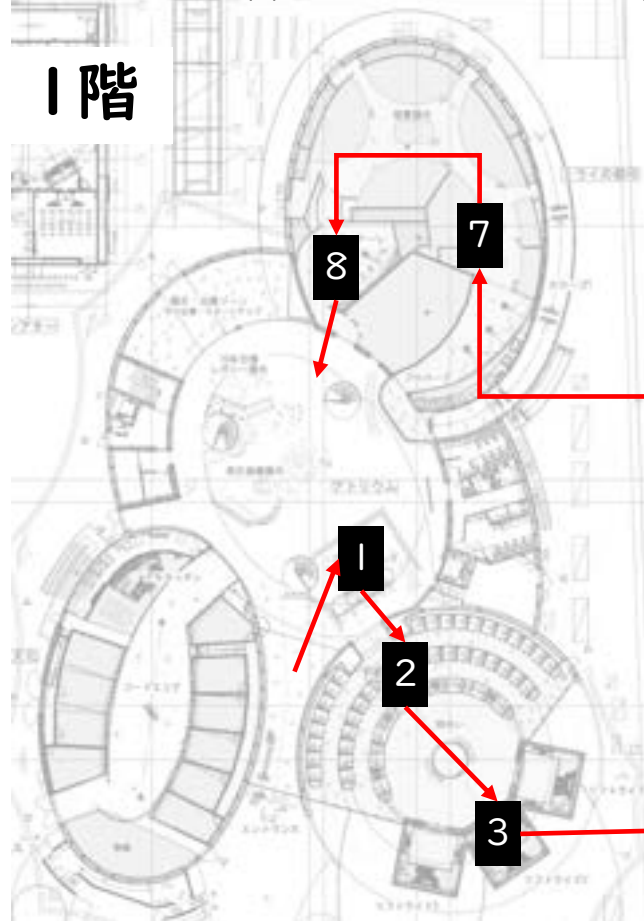
企業展示



企業展示

公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン

## 1階



### 6. ヒカリの坂道



坂道の始点終点  
音声サポート

### 7. ミライの都市

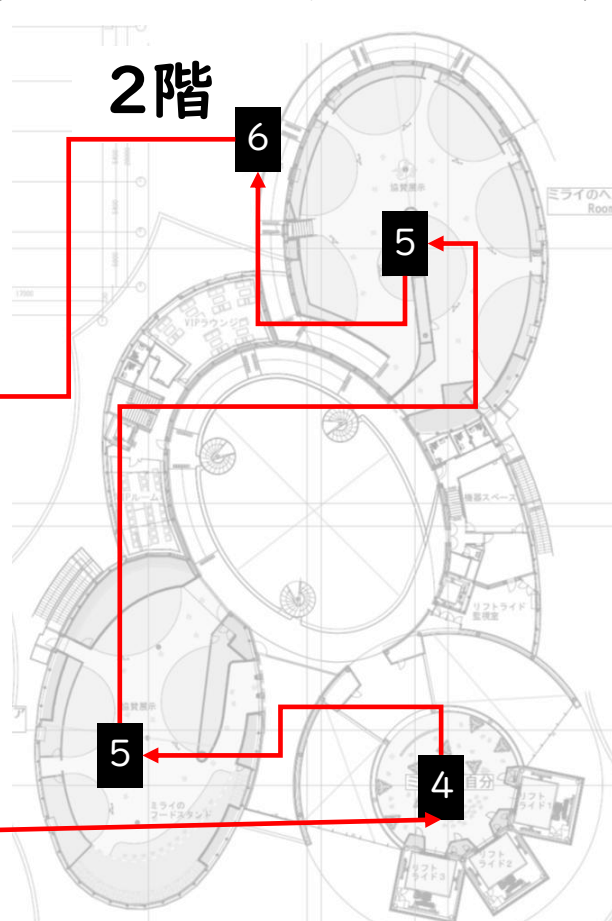


映像を伝える工夫  
を検討



企業展示

## 2階



### 8.リボンパレード



文字情報を  
音声サポート



映像を伝える工夫  
を検討

CONFIDENTIAL |

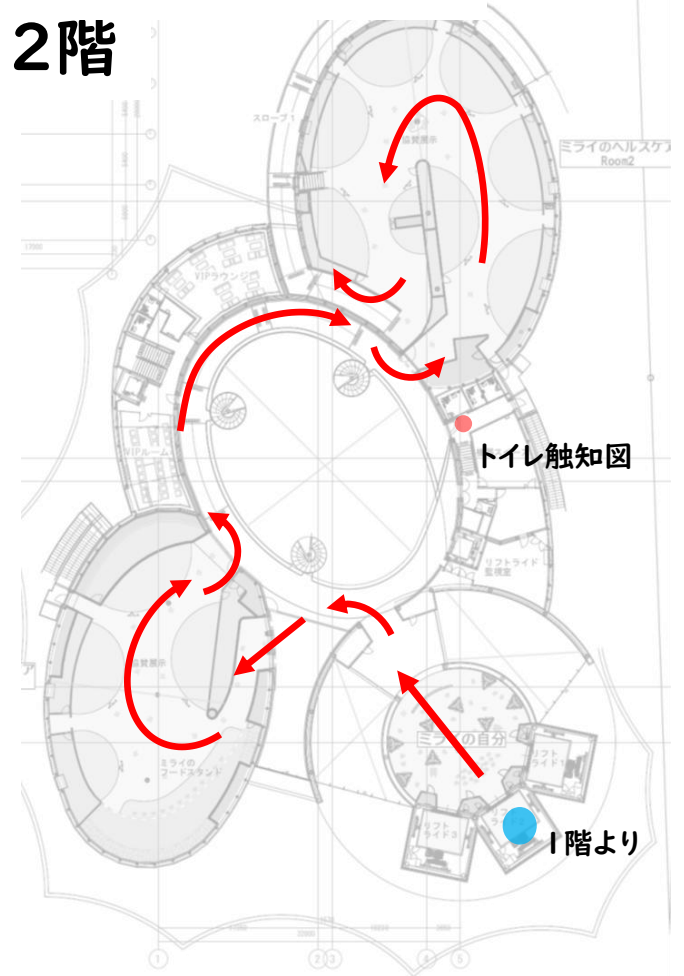
# 移動しやすさの配慮

- ・リボン体験ルートは階段なしのワンルート、一方通行で計画
- ・ナビレンスを設置
- ・スタッフ研修により配慮
- ・希望される方へは、立体コピーを郵送する体制を検討

## 1階



## 2階



# ナビレンスとは？

## NaviLens：視覚障がいのある方へ、主に音声とテキストを提供

A4サイズの場合16メートル以上先から検出し、目的地や距離、方向を読み上げることで「どちらに進めばよいか」「目的地にたどり着いたのかどうか」がわかります。



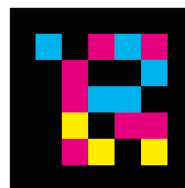
### QRコードとの違い

### QRコード



ピントを合わせて  
読取り

### NaviLensコード



ピント合わせ不要  
長距離、斜め角度でも  
高速検出

# 視覚情報が得にくい人への配慮

パビリオンのサイン計画と沿ったナビレンスの設置などの対応をし、できるだけみんなが困らずに楽しめるように配慮する

## ①移動がしやすいように

### ■ナビレンス

行先がわかるように、各ゾーンの入口や展示ブースサインに設置

### ■その他の配慮

- ・ 音声装置を2か所設置  
(場所)・ヒカリの坂道のはじまりとおわり  
・ みんなトイレ入口サイン
- ・ 1階と2階に設置した緊急情報表示システムは、音声も対応



## ②展示の内容がわかるように

### ■ナビレンス

ブースサインの展示概要を読み上げる  
説明文はどんな展示か想像できるように配慮

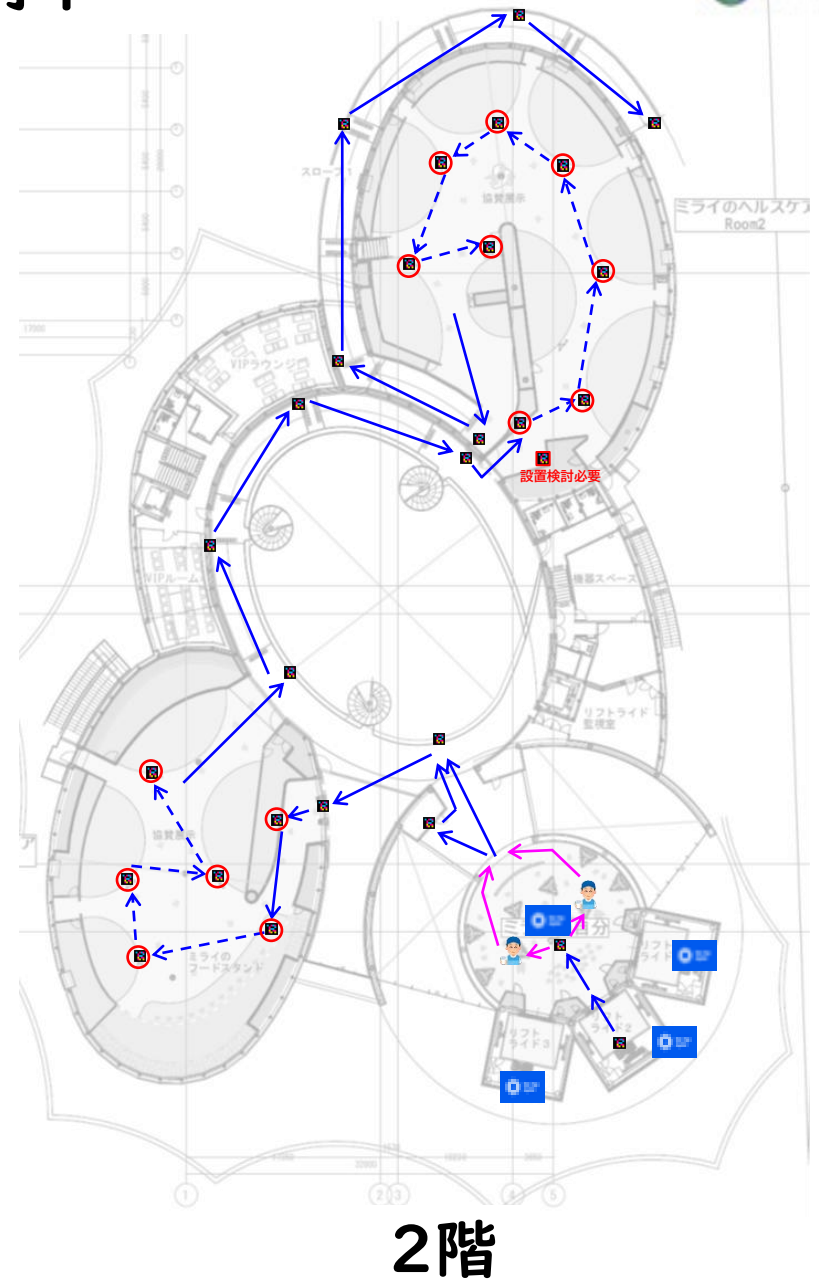
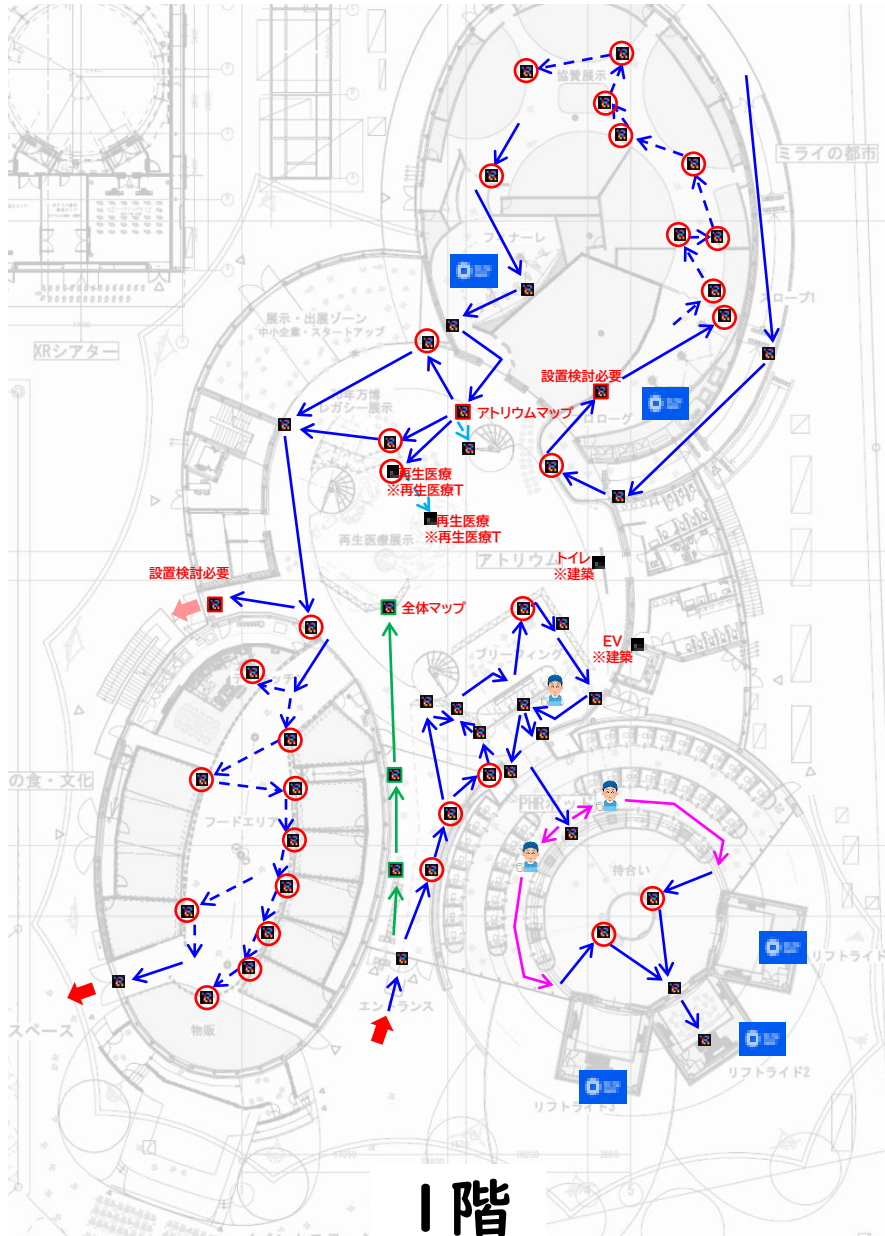
### ■その他の配慮

- ・ 映像等の字幕には原則音声サポートを用意
- ・ 協賛企業展示ブースの配慮については、検討手順書の配布や事例紹介等を実施



ナビレンスコードの大きさや位置は検討中です

# (参考) ナビレンスの設置位置-検討中-



## 報告事項（3）

みんなトイレの  
入口サイン、空き表示モニター

# みんなトイレの入口サインや空き表示モニターの設置高さや見やすいデザインなどを現地で検証しました

コンセプトボード  
は検討中です



入口サイン



空表示モニター

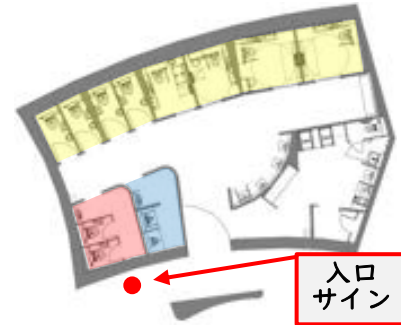
# 大阪ヘルスケアパビリオン みんなトイレ 入口サイン

一番左側のサインは、5月28日に開催したワークショップで、「みんなトイレの入り口サイン」について大阪パビリオンから説明したものを具体化したものになります。

でも、「このサインでは、何か違う・・・」、「みんなの気持ちがうまくサインに表現されていない・・・」、と、再度、大阪パビリオンのUDメンバーで考えなおしました。

「みんなで考えたトイレ名称は大きく表示した方がいい!」、「いろいろな人が同じラインまたは輪になることでみんなの気持ちを表現できるのでは!」と考えた案がA案とB案になります。

みんなトイレのサインとして、A案とB案どちらがいいか、ご意見をお願いします。



前回WSで大阪パビリオンが説明した内容を具体化した案



- ・ピクトを表示しているので直感的にトイレとわかりやすい
- ・みんなトイレのコンセプトが伝わりにくい

A案

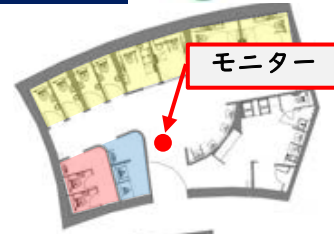


- ・「みんな同じライン」に並んでいることでみんなトイレのコンセプトを表現
- ・トイレの名称が視認しやすい

B案



- ・輪(リング)をモチーフにみんなトイレのコンセプトを表現
- ・A案に比べて視認性が悪い



# みんなトイレ 空き表示モニター

- ・弱視の方への見やすさに配慮し、黒地に白、空きブースを青で光らせる(便器マーク)
- ・機能・ピクトごとに対応するブース番号を表示し、必要な機能があるブースをわかりやすくする
- ・ピクトの説明には日本語と英語を併記。日本語にはルビを記載

## みんなトイレ利用状況案内 Inclusive Toilet Availability Status

空き (Vacant)     
 使用中 (英簿) (In Use)     
 男性小便器の空表示はありません (urinal only?)

### 機能・ピクトー覧 (英語)

車いすトイレ (●●) 5 6 7 8

オストメイト (●●) 6 7

手すり (Handrail) 1 2

手すり (Handrail) 3 4

着替え台 (●●) 5 6

介助用ベッド (●●) 7 8

こどもトイレ (Kid ●●) 13

ベビーチェア (●● chair) 1 2 3 4 5

おむつ交換台 (●●) 5 11 12

調乳器 (●●) 14

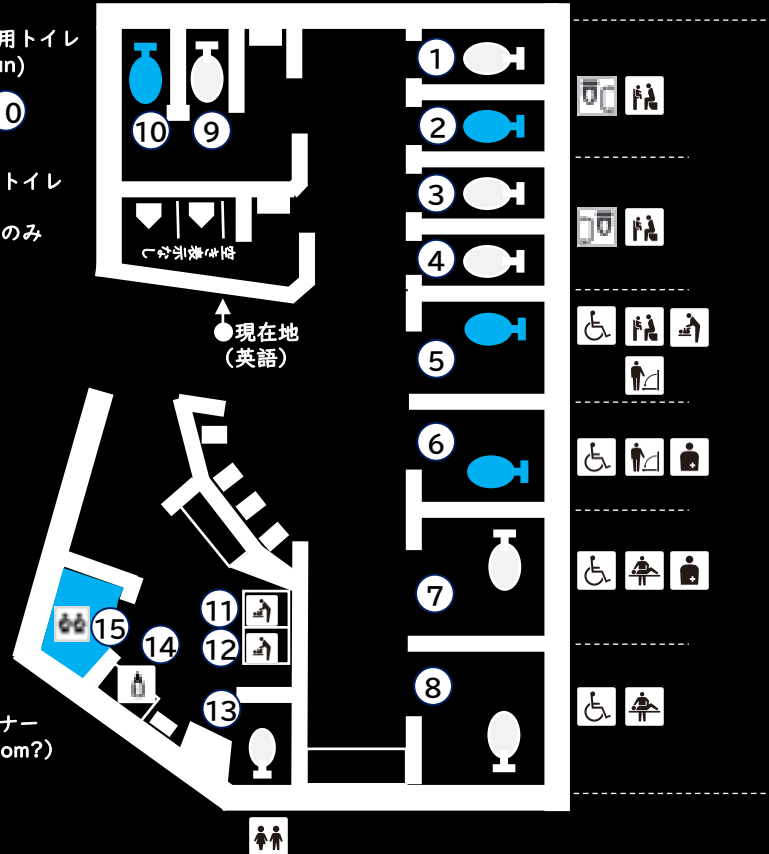
男女共用授乳室 (●●) 15

女性専用トイレ (Woman) 9 10

男性専用トイレ (Man) ※小便器のみ (urinal)

ファミリーコーナー (Baby Care Room?) 11~15

共用トイレ (All Gender) 1~8



### 3. ワークショップ

ホームページでの事前の情報提供

# ワークショップの目的

今後予定しているホームページの更新において、  
必要な情報をよりわかりやすく入手できるようにするため、  
以下の4点について意見交換し、更新のポイントをまとめる

- ①情報を見つけやすいホームページ
- ②ユニバーサルデザイン情報（来館前に知りたい情報）
- ③ユニバーサルデザインマップ
- ④センサーマップ

# ① 情報を見つけやすいホームページ

# ホームページのイメージ(1/3)

デザインは仮です

だれもがアクセスしやすいホームページとするため、どのページにも固定表示されるナビゲーションメニューバーに「ユニバーサルデザイン」のボタンを設置します。

ヘッダー



ホーム About Us ニュース 組織情報 協賛 お問い合わせ



ナビゲーション  
メニューバー



展示内容



リボンチャレンジ



フード・物販



ユニバーサルデザイン



バーチャル

どのページにも、メニューとして、ユニバーサルデザインのボタンが表示されます



## 新着情報

新着情報一覧はこちら

協賛企業に関するお知らせ

2024/06/21

【アテンダント募集を締め切りました】大阪ヘルスケアパビリオンのアテンダントを募集します！

2024/06/10

2025年日本国際博覧会大阪 万博閉幕後における大阪ヘルスケアパビリオン総合調整 ケアパビリオンの利活用に関する業務公募型プロポーザル方式のマーケットサウンディングを実施結果について

2024/05/20

2024/05/02

2024/05/02

2024/03/27

2024/02/21

REBORN

# ホームページのイメージ(2/3)

デザインは仮です

「ユニバーサルデザイン」のボタン上にカーソルを置くと、さらにメニューが表示されます。表示されたメニューをクリックすると、各ページに移動します。

ヘッダー

大阪ヘルスケアパビリオン

ホーム About Us ニュース 組織情報 協賛 お問い合わせ



ナビゲーション  
メニューバー



展示内容



リボンチャレンジ



フード・物販



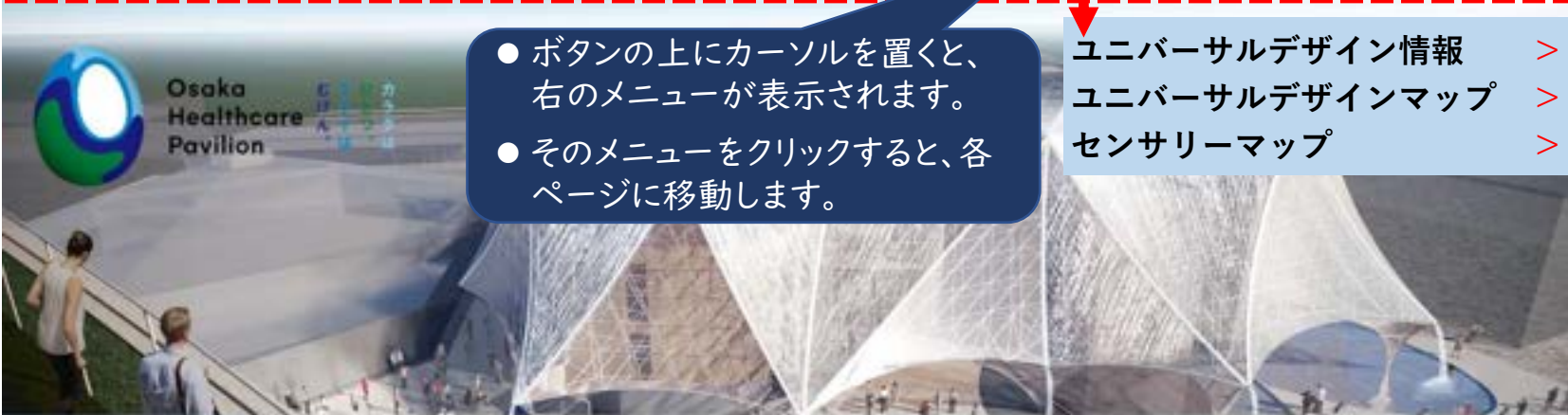
ユニバーサルデザイン



バーチャル

- ボタンの上にカーソルを置くと、右のメニューが表示されます。
- そのメニューをクリックすると、各ページに移動します。

- ユニバーサルデザイン情報 >
- ユニバーサルデザインマップ >
- センサリーマップ >



## 新着情報

新着情報一覧はこちら

協賛企業に関するお知らせ

2024/06/21

【アテンダント募集を締め切りました】大阪ヘルスケアパビリオンのアテンダントを募集します！

2024/06/10

2025年日本国際博覧会大阪 万博閉幕後における大阪ヘルス 2025年日本国際博覧会大阪 万博閉幕後における大阪ヘルス  
ヘルスケアパビリオン総合調整 ケアパビリオンの利活用に関する ヘルスケアパビリオン総合調整 ケアパビリオンの利活用に関する  
業務公募型プロポーザル方式のマーケットサウンディングを実施業務公募型プロポーザル方式のマーケットサウンディングの選  
定結果について 選定結果について 実施について 開回答を掲載しました。

2024/05/20

2024/05/02

2024/03/27

2024/02/21

REBORN

# ホームページのイメージ(3/3)

デザインは仮です

「ユニバーサルデザイン」のボタンをクリックすると、ユニバーサルデザインのメニューが表示されたページに移動します。

ヘッダー



ホーム About Us ニュース 組織情報 協賛 お問い合わせ



ナビゲーション  
メニューバー



展示内容



リボンチャレンジ



フード・物販



ユニバーサルデザイン



バーチャル

- ボタンのをクリックすると、以下のページが表示されます

## ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザイン情報



ユニバーサルデザインマップ



センサリーマップ



- 左のメニューをクリックすると、各ページに移動します
- 次のスライドから、各ページをご説明します

## ② ユニバーサルデザイン情報 (来館前に知りたい情報)

# 「ユニバーサルデザイン情報」の情報項目一覧

来館にあたりご不安をお持ち方の不安を解消できるよう、来館前に知りたい情報は「ユニバーサルデザイン情報」のウェブページに集約し、情報提供します。

## 「ユニバーサルデザイン情報」のページで提供する情報の項目

1. ユニバーサルデザインマップ
2. センサリーマップ
3. 視覚による情報が得にくい方へ
4. 聴覚による情報が得にくい方へ
5. アシスティング・ドッグをお連れの方へ
6. みんなトイレ
7. カームダウン・クールダウンルーム
8. 救護室
9. AED
10. 車椅子をご利用のお客さまへ
11. ベビーカーをご利用のお客さま
12. ユニバーサルデザインの取り組み

# 「ユニバーサルデザイン情報」の項目と内容(1/5)

私たちが提供する「ユニバーサルデザイン情報」の項目と内容です。  
みなさんが来館前に知りたい情報として考えました。

## 1. ユニバーサルデザインマップ

- ・円滑な移動や必要な設備を表示したマップです。

[ユニバーサルデザインマップへ移動](#)

## 2. センサリーマップ

- ・感覚が過敏な方でも安心してお過ごしいただけるように、音や光、においなどの刺激が強い場所や気分が悪くなった時に休息できる場所を表示したマップです。

[センサリーマップへ移動](#)

## 「ユニバーサルデザイン情報」の項目と内容(2/5)

### 3. 視覚による情報が得にくい方へ

以下のサポートがあります。

- ・「NaviLens (ナビレンス)」による展示ガイドを設置しています。

[詳しくはこちら→詳細ページ](#)

- ・音声ガイドをご用意しています。

[設置場所を示したページに移動](#)

- ・触知図を、エントランスをに入って左側の壁と、各トイレの入口に設置しています。

### 4. 聴覚による情報が得にくい方へ

- ・音声による文字情報を伴う映像コンテンツには、字幕表示しています。

# 「ユニバーサルデザイン情報」の項目と内容(3/5)

## 5. アシスティング・ドッグをお連れの方へ

- ・アシスティング・ドッグ(盲導犬・介助犬・聴導犬)同伴で入館いただけます。

## 6. カームダウン・クールダウンルーム

- ・1階、2階に各1部屋を設置しています。

[カームダウン・クールダウンルームの解説ページに移動](#)

## 7. みんなトイレ

- ・誰もが使いやすいをテーマとして整備したみんなトイレが1階にあります。

[みんなトイレの解説ページに移動](#)

## 8. 救護室

- ・1階に設置しています。具合が悪くなったら、スタッフにお申し出ください。

# 「ユニバーサルデザイン情報」の項目と内容(4/5)

## 9. AED

- ・設置しています。

[設置場所はこちら\(ユニバーサルデザインマップ\)](#)

## 10. 車椅子をご利用のお客さまへ

- ・貸出し用車椅子をご用意しております。係員にお申し出ください。
- ・車いすトイレは、すべてのトイレに設置しています。

[設置場所はこちら\(ユニバーサルデザインマップ\)](#)

## 11. 小さいお子さまをご同伴のお客さまへ

- ・1階のみんなトイレに併設しているファミリーコーナーに、授乳室、おむつ替えベッドなどをご用意しています。

[設置場所はこちら\(ユニバーサルデザインマップ\)](#)

# 「ユニバーサルデザイン情報」の項目と内容(5/5)

## 12. ユニバーサルデザインの取り組み

- ・大阪ヘルスケアパビリオンでは、世界中から訪れるすべての来館者が、国・地域、文化、人種、性別、世代、障がいの有無に関わらず、楽しみ、快適に過ごせるパビリオンの実現をめざしています。

[詳しくはこちら→詳細ページ](#)

## ③ ユニバーサルデザインマップ

# ユニバーサルデザインマップに表示する情報

- ・パビリオンを安全で快適に体験いただくための情報を掲載したマップです。
- ・通路の段差やバリアフリートイレの場所等を掲載しています。

## (表示情報)

※ピクトは仮です。



救護室



カームダウン  
・クールダウン



スロープ



階段



座れる場所

## トイレ



男女共用トイレ



車いすトイレ



男性専用トイレ



女性専用トイレ



フィッティングボード



介護用ベッド



オストメイト



ベビーチェア



おむつ替えベッド

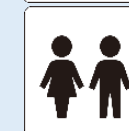
## ファミリーコーナー



ベビーチェア



おむつ替えベッド



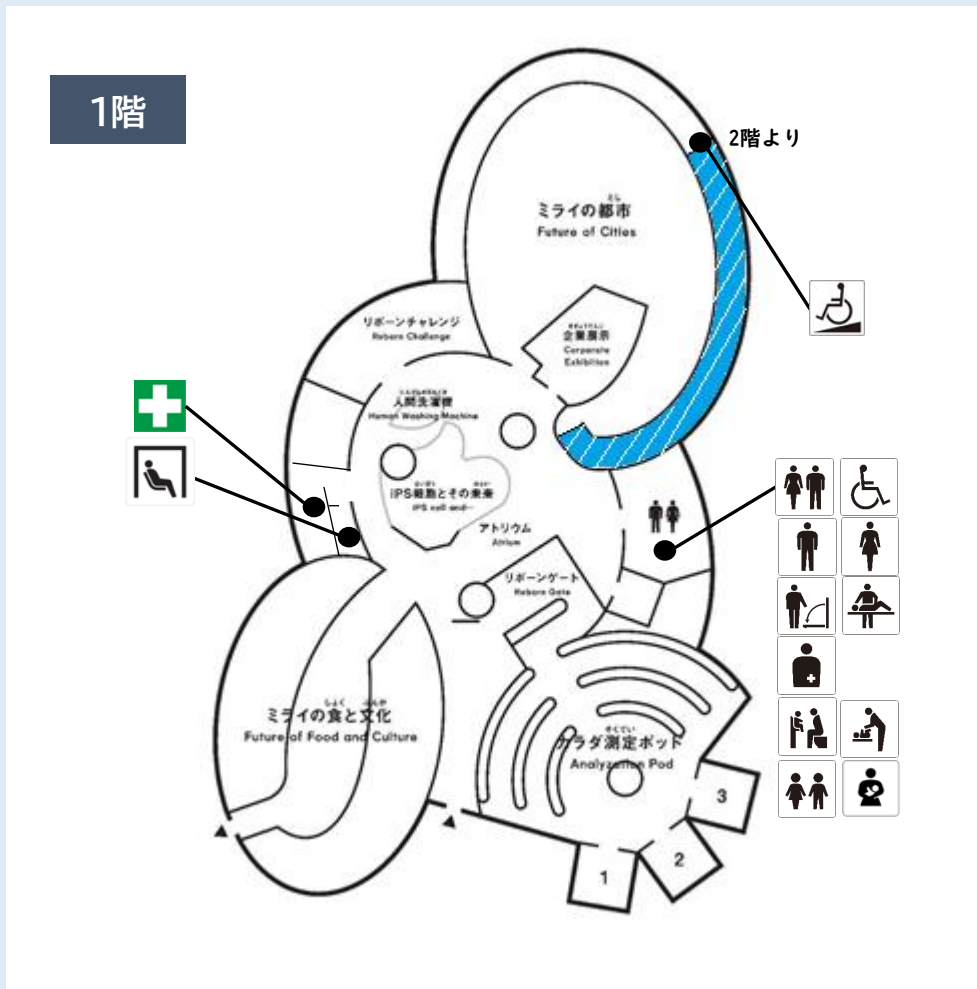
キッズトイレ







授乳室

# ユニバーサルデザインマップのイメージ

## パターン1 (展示区画なし)



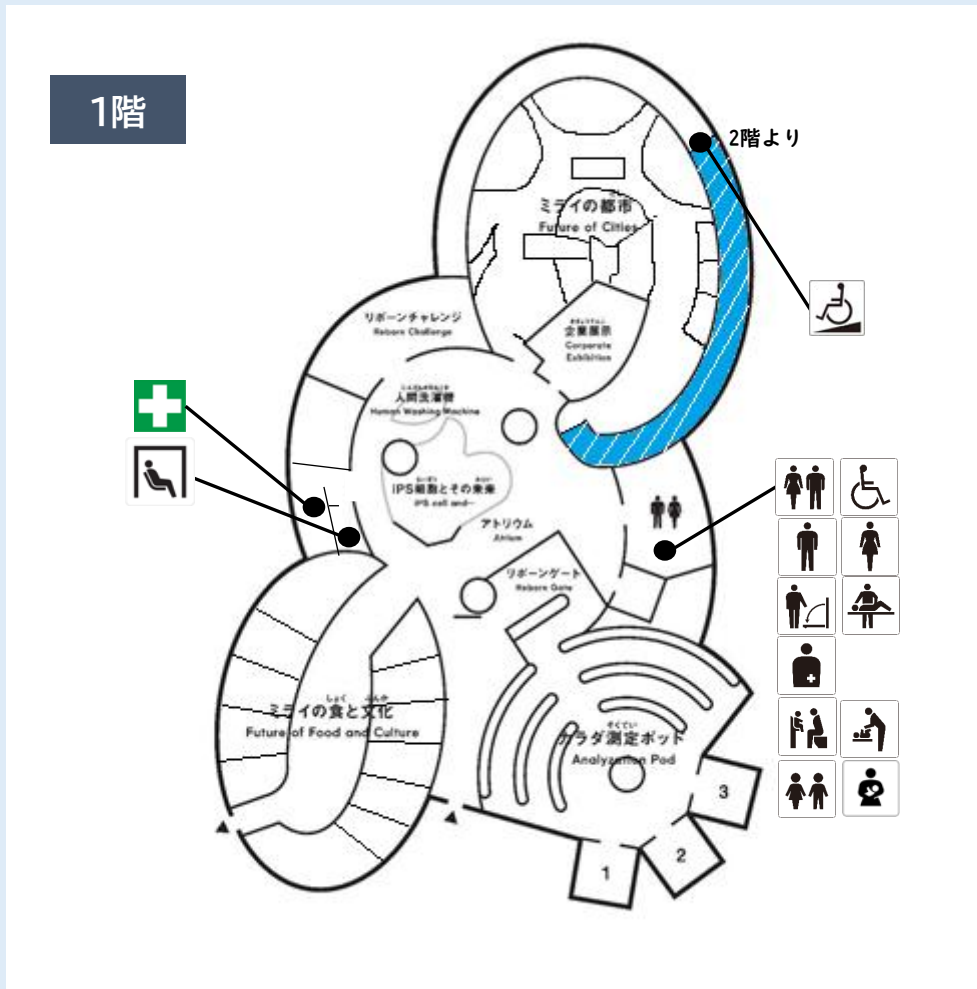
-  救護室
-  カームダウン  
・クールダウン
-   スロープ





- トイレ**
-  男女共用トイレ
  -  車いすトイレ
  -  男性専用トイレ
  -  女性専用トイレ
  -  フィッティングボード
  -  介護用ベッド
  -  オストメイト
  -  ベビーチェア
  -  おむつ替えベッド










- ファミリーコーナー**
-  ベビーチェア
  -  おむつ替えベッド
  -  キッズトイレ
  -  授乳室





# ユニバーサルデザインマップのイメージ

## パターン2（展示区画あり）



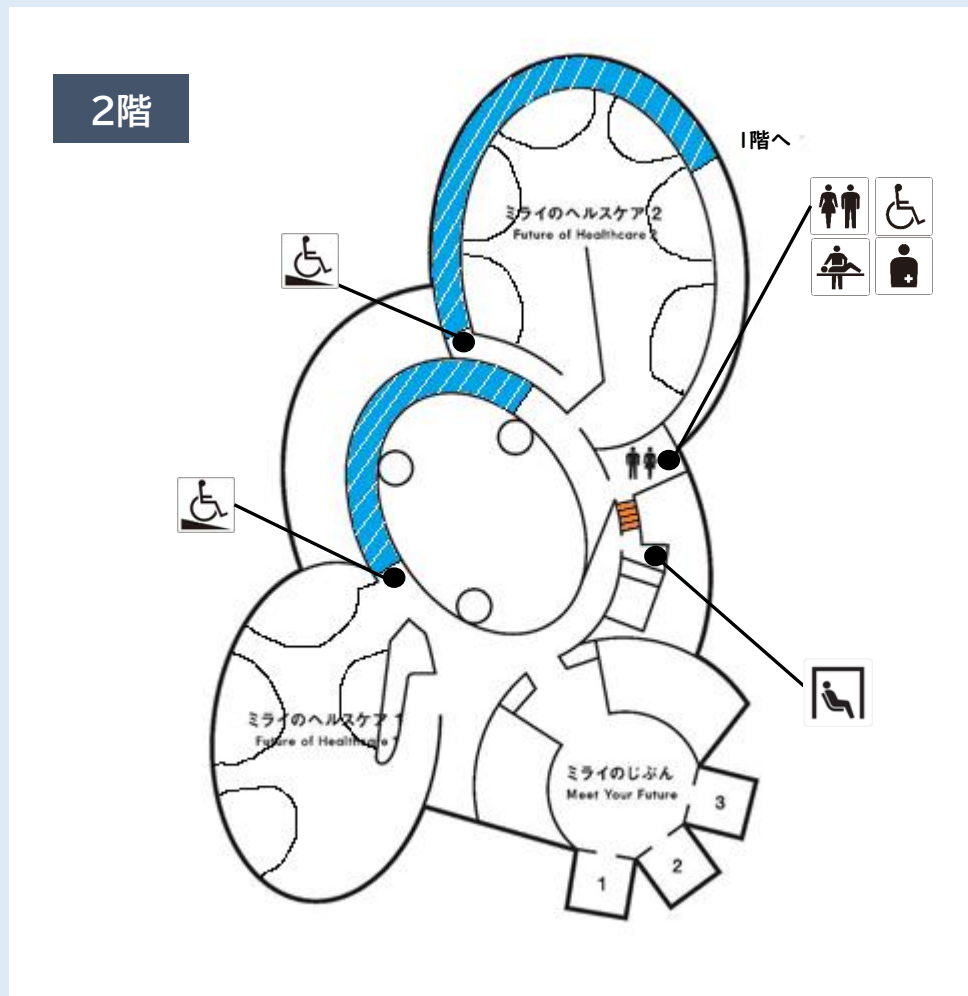
-  救護室
-  カームダウン  
・クールダウン
-   スロープ





- トイレ**
-  男女共用トイレ
  -  車いすトイレ
  -  男性専用トイレ
  -  女性専用トイレ
  -  フィッティングボード
  -  介護用ベッド
  -  オストメイト
  -  ベビーチェア
  -  おむつ替えベッド

- ファミリーコーナー**
-  ベビーチェア
  -  おむつ替えベッド
  -  キッズトイレ
  -  授乳室

# ユニバーサルデザインマップのイメージ

## パターン2（展示区画あり）



-  **カームダウン**  
・クールダウン
-   **スロープ**
-  **階段**

### トイレ

-  **男女共用トイレ**
-  **車いすトイレ**
-  **介護用ベッド**
-  **オストメイト**

## ④ センサーマップ

# センサーマップに表示する情報

「音」や「光」、「におい」などに敏感な方にも安心して過ごしていただけるように、ホームページにセンサーマップを掲載します。

マップには、刺激のある場所の他に、休息できる場所を表示します。

## (表示情報) ピクトは仮です。

### 感覚刺激情報



光刺激のつよい場所



大きい音がする場所



においのある場所



スピード感のある映像

### 休息場所



カームダウン・クールダウンルーム

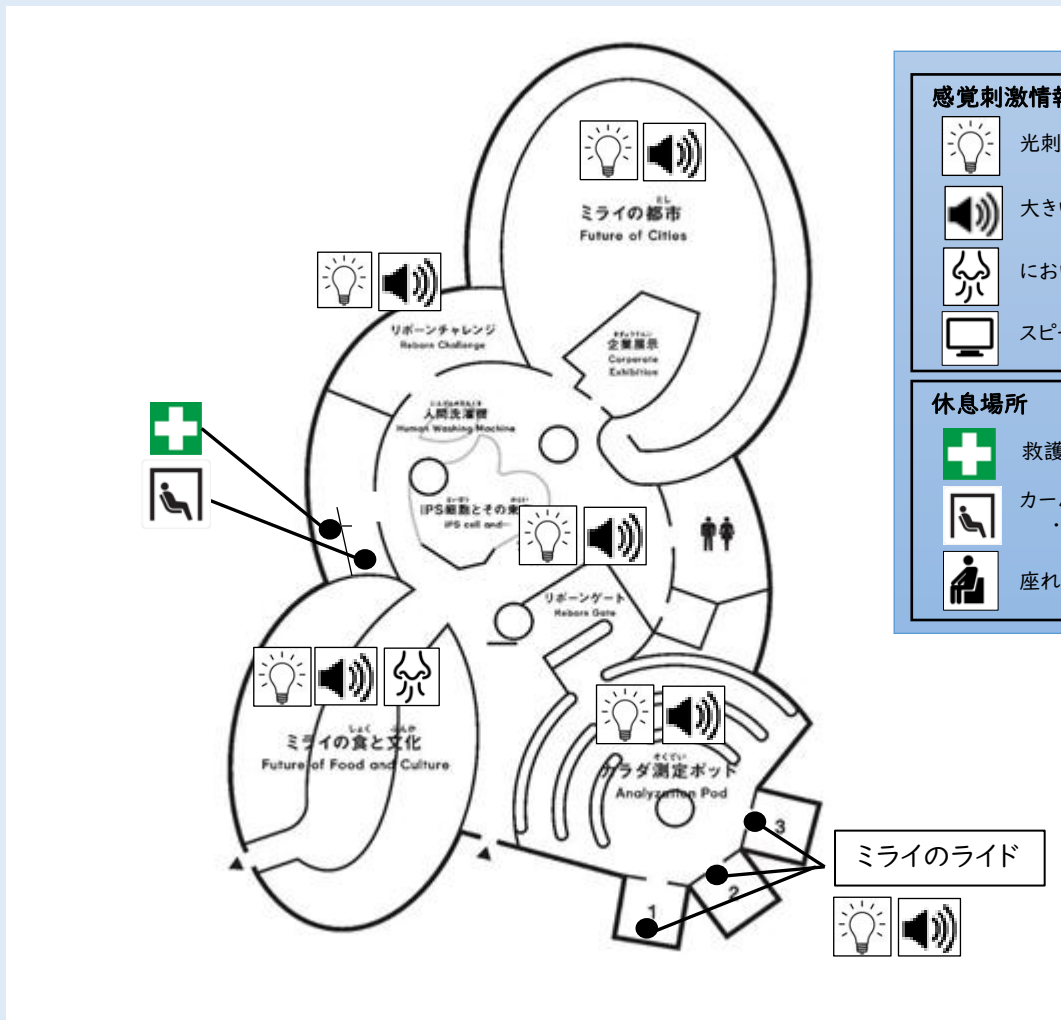


救護室



座れる場所

# センサーマップのイメージ



**感覚刺激情報**

- 光刺激のつよい場所
- 大きい音がする場所
- においのある場所
- スピード感のある映像

**休憩場所**

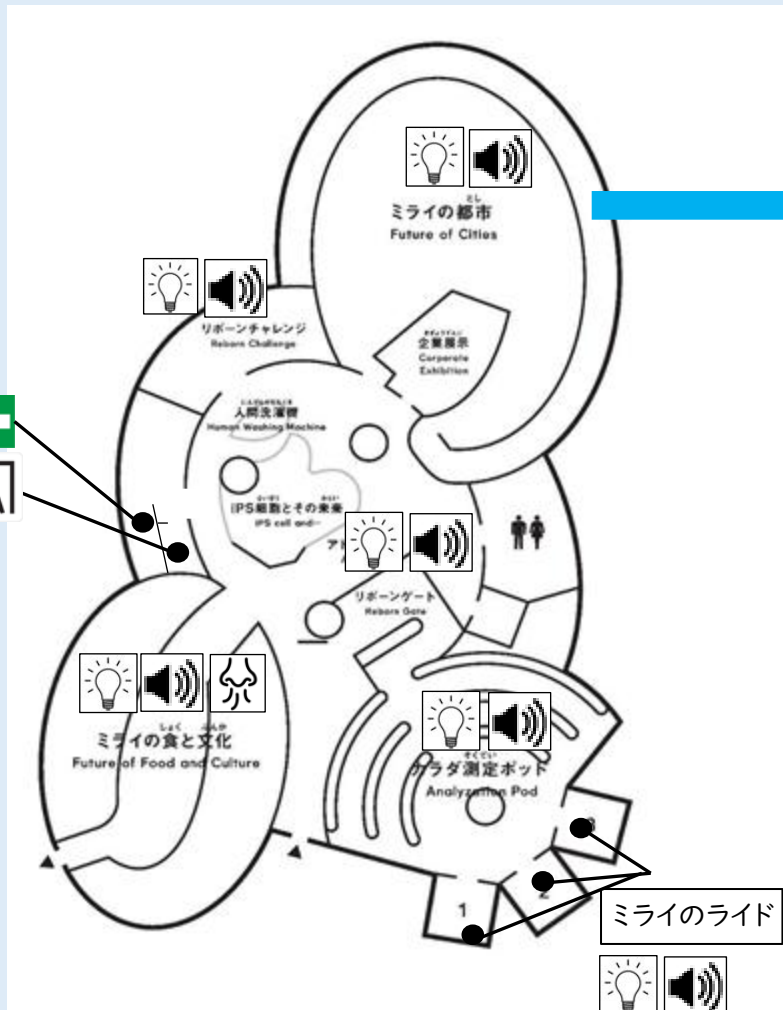
- 救護室
- カームダウン  
・クールダウン
- 座れる場所

**ミライのライド**

- 光刺激のつよい場所
- 大きい音がする場所

# センサリーマップのイメージ(個別の展示ブース)

協賛企業様の展示ブースの情報についても、  
今回の意見を参考に検討を進めます。



# 今回のディスカッションのポイント

## ①情報を見つけやすいホームページ

- ・知りたい情報にアクセスしやすいですか

## ②ユニバーサルデザイン情報（来館前に知りたい情報）

- ・必要な情報はそろっていますか
- ・情報のタイトルや説明内容はわかりやすいですか

## ③ユニバーサルデザインマップ

- ・必要案情報はそろっていますか
- ・展示ブースの区画表示はあった方がわかりやすいですか（パターン1と2を比較）

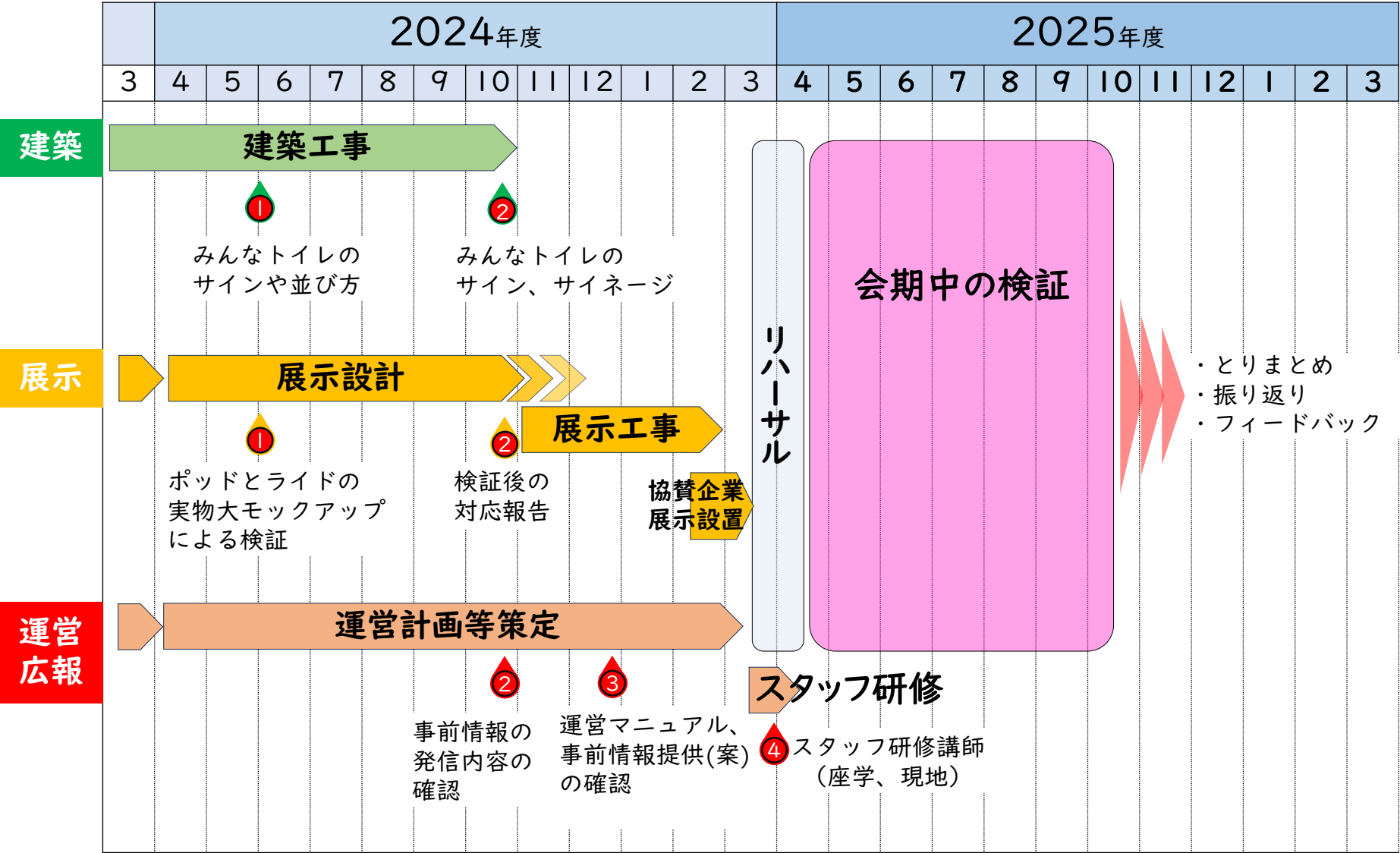
## ④センサーマップ

- ・必要な情報はそろっていますか
- ・刺激の種類はそろっていますか
- ・どの程度の刺激なら表示したほうよいでしょうか

発表（各班5分）

# 講 評

今後の予定



① : 内容により対面又は オンライン形式で実施

ワークショップの資料は全部で 51 ページあります。タイトルだけページや写真やイラストに書き込みしているページがあります。できるだけわかりやすく書いているつもりですが、不十分な点をご容赦くださるようお願いいたします。

## 1 ページ目

(タイトル)

大阪ヘルケアパビリオン UD 推進チームワークショップ令和 6 年 10 月 15 日14時から17時  
乃村工芸社会議室なんばパークスタワー20 階

## 2 ページ目

(タイトル)当日の流れ、オンラインあります

1. はじめに 14 時ごあいさつ、進行の確認

2. 報告事項 14 時 5 分

(1) 5 月のモックアップ検証の結果報告

①ミライのライド ②カラダ測定ポッド ③同ポッド(モニター) ④サイン

(2) 視覚による情報が得にくい人への配慮(ナビレンスの導入)

(3)みんなトイレの入口サインと空き表示モニター

15 時 5 分 休憩 10 分

3. ワークショップ「ホームページでの事前の情報提供」

15 時 15 分 情報提供の内容や方法(検討用の案)

① ホームページの構成②ユニバーサルデザイン情報(来館前に知りたい情報)③ユニバーサル  
デザインマップ④センサリーマップ

15 時 25 分 班ごとのディスカッション 45 分(まとめ・休憩含む)

16 時 10 分 発表 (5分/4チーム)

講評 10 分

4. おわりに、今後の予定

16 時 45 分 終了

## 3 ページ目

(タイトル) 班分け

ワークショップ班構成と役割

A 班ファシリテーターは事務局、メンバーは子育て世帯、LGBTQ+、知的障がい者と親、視覚障がい者、聴覚障がい者、業務受託者です。リーダーは子育て世帯、書記は事務局、UDトーク対応は事務局です。

B 班ファシリテーターは事務局、メンバーは車いす使用者、発達障がい者と親、視覚障がい者、知的障がい者の親、車いす使用者(WEB)、業務受託者です。リーダーは車いす使用者、書記は事務局です。

C 班ファシリテーターは事務局、メンバーは車いす使用者、医療的ケア児と親、視覚障がい者、精神障がい者、LGBTQ+、業務受託者です。リーダーは車いす使用者、書記は事務局です。

D 班ファシリテーターは事務局、メンバーは発達障がい者の親、医療的ケア児と親、視覚障がい者、聴覚障が

い者、車いす使用者、業務受託者、リーダーは発達障がい者の親、書記は事務局です。

出席者は、エキスパートのほか、大阪パビリオンの建築、展示、運営、催事の各メンバー、さらに展示・運営業務を受託している JV 各社の乃村工芸社、ビプロジー、サンセイ、ワットエバー、アビ、広報業務受託者の博報堂。

オブザーバーには博覧会協会、近畿地方整備局、大阪府建築環境課

4ページ目

(タイトル)

報告事項 (1)5月のモックアップ検証の結果報告

5ページ目

(タイトル)

①ミライのライド(当日の様子)

(説明文)

5月28日に行ったモックアップの時の写真です。

みんなで実物大のリフトライドに乗った場合にどんな風を感じるか検証を行っています。

6ページ目

(タイトル)

①ミライのライド(主なご意見と対応)

(説明文)

わかった課題は、次のように対応します。課題と対応は以下の6点。

1. 映像の中のスピード感が早すぎると目が回る。配慮が必要。
  - ・公式 HP、センサリーマップによる事前の情報共有をします
2. 映像の光や大きい音が苦手な人がいる。
  - ・公式 HP、センサリーマップによる事前の情報共有をします
3. 人だかりを考慮し、字幕は上部表示が良い。
  - ・高さは検討中
4. 音声ガイド(映像説明)をつけてほしい。
  - ・音声内容を検討中
5. 映像の高さはもう少し高い方が良い。
  - ・15センチメートル高く変更
6. 画面が見づらいのでゼブラゾーンを設けてほしい
  - ・床の色を変えるなど検討中

7ページ目

(タイトル)

②カラダ測定ポッド(当日の様子)

(説明文)

みんなで実物大のカラダ測定ポッドの中に入って車いすが回転できるか、操作盤や画面の高さがどの位置なのかを検証している写真です。

8ページ目

(タイトル)

②カラダ測定ポッド(主なご意見と対応)

(説明文)

わかった課題は、次のように対応します。課題と対応は以下の8点。

1. カーテンによる遮閉感で1人では入りづらい、2. カーテンの開閉が難しい。
  - ・カーテンは開け閉めしやすく下部は600空ける(遮蔽感も緩和)
3. 入口の正面に操作盤やモニターがある方が、車いすは使いやすい。
  - ・機器収納スペースと、センシング機材取付上、難しい
4. 介助者が一緒に入る場合、センサーやカメラに問題ないか。
  - ・問題ありません
5. リーダーが右側にしかなかった。左手しか使えない時はどうするのか。
  - ・左と右のそれぞれのポッドを用意します
6. 出入口の間口 1350 ミリメートルが狭い。
  - ・1800 ミリメートルタイプを用意します
7. 間口に対し、台の突き出し分が邪魔をしていて入りづらい。
  - ・開口位置をずらして入りやすくします
8. リーダーに手が届きにくいいため手前にしてほしい。
  - ・できる限り手前に寄せます

9 ページ目

(タイトル)

②カラダ測定ポッド対応策

カラダ測定ポッドの立体的なパースが中央にあり、大きさは車いすが入れる大きさ。パースの周りに6項目の吹き出しがあります。

リーダー位置をできる限り手前に移動。天板の突き出し部分を丸める処理をして入りやすく。カーテンは開け閉めしやすく下部は 600mm 空ける(遮へい感も緩和)。カウンターの奥行きを最小限にして、室内有効スペースを確保。大きめポッドも含めて左右反転型ポッドを用意することで、リーダーの位置も左右のタイプを確保。出入口を 1400mm に拡大(内部は 1800mm)

10ページ目

(タイトル)

③カラダ測定ポッド・モニター(当日の様子)

(説明文)

みんなでカラダ測定ポッドの中にあるモニターの操作について検証している写真です。

11ページ目

(タイトル)

③カラダ測定ポッド・モニター(主なご意見と対応)

(説明文)

わかった課題は、次のように対応します。課題と対応は以下の8点。

1. リセット、戻るができるようにしてほしい
  - ・計測を始める前にキャンセルできるように変更。途中では戻れません
2. カメラ位置(上下)の位置・向きを調整できない。
  - ・対応済み
3. カメラ選択について車いすに座る高さや身長に差異がある
  - ・対応済み
4. カメラの撮影枠に収まる位置に移動することが難しい。
  - ・対応済み
5. 家族や介助者と一緒に入る時、体験者の区別ができるのか。
  - ・区別できます
6. 視覚障がい者がわかる音声案内にしてほしい。
  - ・配慮します。また、スタッフがサポートします
7. 自身の情報については音声で聞きたい。
  - ・個人情報については読み上げないこととしています
8. 「立ってください」の表示は NG。座ったままできることがわかる表現に。
  - ・表現を変更します

12ページ目

(タイトル)

④サイン(当日の様子)

(説明文)

実物大のサインの写真です。

13ページ目

(タイトル)

④サイン(主なご意見と対応)

(説明文)

わかった課題は、次のように対応します。課題と対応は以下の6点。

1. 前に人がいると見えない。ロゴの位置と説明の位置を上下逆にした方が良い。
  - ・デザインを調整します
2. 光の当たり方で見え方が変わる。

- ・文字の周りに白い縁を付け視認性を良くします
3. 文字の青や緑の色は弱視の人には見えにくい。
- ・文字の周りに白い縁を付け視認性を良くします
4. 視覚障がい者が情報を得られない。
- ・ナビレンスを設置します
5. QR コードを配置して、WEB ページや音声読み上げできないか。
- ・ナビレンスを設置します
6. 説明文はルビをふる対応となるのか。
- ・タイトルや説明文にすべてルビをふります

#### 14ページ

(タイトル)

#### ④サイン対応策

(説明文)

サインの図にどのような対応策をとったのか記載しています。

- ・文字に白色のふちを足して視認性を確保
- ・ナビレンスを設置
- ・ルビも含め読みやすい文字サイズと文字高さでのサイン位置設定

#### 15ページ目

タイトルページ:報告事項(2)

サブタイトル:視覚情報が得にくい人への配慮(ナビレンスの導入)

#### 16 ページ目

(タイトル)

展示の内容を伝える配慮

1 階、2 階の平面図の左側と下側にリボーン体験ルートの流れに沿った小さい写真が 11 枚あります。写真には音声付き映像や映像をつたえる工夫を検討と書かれています。

- ・音声付き映像や音声サポートで伝える
- ・企業展示の概要をナビレンスの音声で伝える、企業展示の対応は各社で検討中

#### 17 ページ目

(タイトル)

移動しやすさの配慮、以下の内容が記載しています。また、1階、2 階の平面図に移動ルートの矢印が記入しています。

- ・リボーン体験ルートは階段なしのワンルート、一方通行で計画
- ・ナビレンスを設置
- ・スタッフ研修により配慮

・希望される方へは、立体コピーを郵送する体制を検討

## 18 ページ目

(タイトル)

ナビレンスとは？

ナビレンス:視覚障害のある方へ、主に音声とテキストを提供

A4サイズの場合 16 メートル以上先から検出し、目的地や距離、方向を読み上げることで

「どちらに進めばよいか」「目的地にたどり着いたのかどうか」がわかります。

このページにはナビレンスサンプルコードなど、紹介写真が貼られています。また、QR コードとの違いが書かれています。

## 19 ページ目

(タイトル)

視覚情報が得にくい人への配慮

パビリオンのサイン計画と沿ったナビレンスの設置などの対応をし、できるだけみんなが困らずに楽しめるように配慮する

①移動がしやすいように

### ■ナビレンス

行先がわかるように、各ゾーンの入口や展示ブースサインに設置

### ■その他の配慮

音声装置を 2 か所設置

(場所)・ヒカリの坂道のはじまりとおわり

・みんなトイレ入口サイン

1階と2階に設置した緊急情報表示システムは、音声も対応

②展示の内容がわかるように

### ■ナビレンス

ブースサインの展示概要を読み上げる

説明文はどんな展示か想像できるよう配慮

### ■その他の配慮

映像等の字幕には原則音声サポートを用意

協賛企業展示ブースの配慮については、検討手順書の配布や事例紹介等を実施

このページには出入り口などのサインのパスが貼っています。

## 20 ページ目

(タイトル)

参考ナビレンスの設置位置 検討中

このページには 1 階、2 階の平面図があり、展示ルートに沿ってナビレンスの設置予定カ所を小さいなびレンスコードを載せています。その数は80カ所程度です。

## 21ページ目

タイトルページ:報告事項

サブタイトル:(3)みんなトイレの入り口サイン、空き表示モニター

## 22ページ目

(説明文)

みんなトイレの入り口サインや空き表示モニターの設置高さや見やすさなどを現地で検証しました

(写真)

4枚の写真があります。大阪パビリオン担当者、設計者、施工者で、現場でのサインの見え方を検証しました。

- ・左上は、実際の壁にサイン案を貼って位置を確認している写真です。(※コンセプトボードは検討中です。)
- ・右上は、サインの高さを確認している写真です。
- ・左下は、サインージを設置する場所で、実際の大きさで、トイレの配置図の向きやブースの機能一覧の表示方法など、いくつかのパターンで、どの案がわかりやすいか検証している写真です。
- ・右下は、サインージの位置に同じ大きさの紙で作った案を貼ってみて、文字や配置図の大きさを確認している写真です。

## 23ページ目

(タイトル)

大阪ヘルスケアパビリオン みんなトイレ 入り口サイン

(説明文)

一番左側のサインは、5月28日に開催したワークショップで、「みんなトイレの入り口サイン」について大阪パビリオンから説明したものを具体化したものになります。

でも、「このサインでは、何か違う・・・」、「みんなの気持ちがうまくサインに表現されていない・・・」、と、再度、大阪パビリオンのUDメンバーで考えなおしました。

「みんなで考えたトイレ名称は大きく表示した方がいい!」、「いろいろな人が同じラインまたは輪になることでみんなの気持ちを表現できるのでは!」と考えた案がA案とB案になります。

みんなトイレのサインとして、A案とB案どちらがいいか、ご意見をお願いします。

(図)

3つの図(サイン案)が並んでいます。

1番左のサイン案(前回のワークショップで大阪パビリオンから説明した内容を具体化した案)

- ・大きさは縦60センチメートル、横60センチメートル
- ・左上半分の左寄りに「みんなトイレ」(文字の大きさは縦横共に約5.5センチメートル)、その下に英語で「Inclusive Toilet」と表記。文字は黒色です。
- ・左下半分に男女共用トイレのピクトサイン(約20センチメートル角)を表示しています。ピクトサインは白地に図が黒色です。

- ・右下半分にみんなトイレの機能を表すピクトサイン(約 6.5 センチメートル角)を縦に3列、横に3列の計9個並べています。ピクトサインは白地に図が黒色です。
- ・9個のピクトサインは左上から下に車いす、オストメイト、子どもトイレ、2 列目の上から下に、介助用ベッド、おむつ交換台、授乳室、3列目の上から下に、着替え台、ベビーチェア、調乳器の順番に並んでいます。
- ・サインの特徴としては、案内用図記号を記載しているので、ぱっと見てトイレとわかりやすいですが、みんなトイレのコンセプトが伝わりにくいと考えています。

#### 真ん中のサイン A 案

- ・大きさは縦60センチメートル、横60センチメートル
- ・サインの中央に「みんなトイレ」(文字の大きさは縦横共に約6.5 センチメートル角)、その下に英語で「Inclusive Toilet」と表記しています。文字は黒色です。
- ・サインの下側に、いろいろな人のピクト(12 種類)が1列に並んでいます。人の大きさは約 10 センチメートル、人のピクトは黒色です。
- ・人のピクトは左から、男性、内部障がいのある人(人型の左胸にハートマーク、ハートマークの中に十字の記号)、妊婦、松葉杖を使用している人、車いすを使用している人、乳幼児を抱いた人、杖をついた人、女の子、白杖を使用している人、ベビーカーを押している人、男の子、女性の順に並んでいます。

A 案の特徴は、

- ・UD推進チームのみんなで考えたトイレだということ、「誰もが分け隔てなく、自由に選んで、自然に使えるトイレ」というコンセプトをいろいろな人のピクトが 1 列に並んでいることで表現しています。

#### 1番右のサイン B 案

- ・大きさは縦60センチメートル、横60センチメートル
- ・サインの中央に「みんなトイレ」(文字の大きさは縦横共に約6.5 センチメートル)、その下に英語で「Inclusive Toilet」と表記。文字は黒色です。これは、A案と同じです。
- ・文字の周りを円で囲むようにいろいろな人のピクト(18 人)を並べています。
- ・人のピクトは 12 時の位置から右回りに、妊婦、内部障がいのある人、松葉杖を使用している人、杖をついた人、車いすを使用している人((3 時の位置)、乳幼児を抱いた人と男の子、ベビーカーを押している人、女性、杖をついた人、車いすを使用している人(6時の位置)、白杖を使用している人、女性と内部障がいのある人、ベビーカーを押している人と男の子、松葉杖を使用している人(9時の位置)、男性、女性、女の子と白杖を使用している人、の順に並んでいます。

B 案の特徴は、

- ・UD推進チームのみんなで考えたトイレだということ、「誰もが分け隔てなく、自由に選んで、自然に使えるトイレ」というコンセプトをいろいろな人のピクトが円状に並ぶことで表現しています。

#### 24ページ目

(タイトル)

みんなトイレ 空き表示モニター

(説明文)

- ・弱視の方への見やすさに配慮し、黒地に白、空きブースを青で光らせる(便器マーク)
- ・機能・ピクトごとに対応するブース番号を表示し、必要な機能がどのブースにあるかわかりやすいよう工夫
- ・ピクトには日本語と英語を併記し、日本語にはルビを記載

(図)

サイネージの画面の図を示しています。

- ・図の左上に「みんなトイレ利用状況案内」
- ・図の左側に機能・ピクト一覧を表記。ピクト、ピクトの説明、その機能があるトイレの番号を示しています。
- ・図の右側にみんなトイレの平面図を表記。各ブースに番号とそのブースの機能を示すピクトを表記しています。

## 25ページ目

タイトルページ:3. ホームページでの事前の情報提供

## 26ページ目

(ワークショップの目的)

今後予定しているホームページの更新において、必要な情報をよりわかりやすく入手できるようにするため、以下の4点について意見交換し、更新のポイントをまとめる

- ① 情報を見つけやすいホームページ
- ② ユニバーサルデザイン情報(来館前に知りたい情報)
- ③ ユニバーサルデザインマップ
- ④ センサリーマップ

## 27ページ目

タイトルページ:① 情報を見つけやすいホームページ

## 28ページ目

(タイトル)

### ① ホームページのイメージ(1/3)

だれもがアクセスしやすいホームページとするため、どのページにも固定表示されるナビゲーションメニューバーに「ユニバーサルデザイン」のボタンを設置します。

(図)

ホームページの図

- ・ホームページの図の上の部分には、左から、馬の絵、電球の絵、スプーンフォークの絵、テントの絵がならんでおり、テントの絵の下にはユニバーサルデザインの文字、また、その絵から吹き出しが出ている。
- ・吹き出し内の説明:どのページにも、メニューとして、ユニバーサルデザインのボタンが表示されます

## 29ページ目

(タイトル)

## ①ホームページのイメージ

(図)

ホームページの図

・ホームページの図の上の部分には、左から、馬の絵、電球の絵、スプーンフォークの絵、テントの絵がならんでおり、テントの絵の下にはユニバーサルデザインの文字、また、その絵から吹き出しが出ている。

・吹き出し内の説明:

- ボタンの上にカーソルを置くと、右のメニューが表示されます。
- そのメニューをクリックすると、各ページに移動します。

30ページ目

(タイトル)

## ①ホームページのイメージ

(図)

ホームページの図

・ホームページの図には上から

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザイン情報

ユニバーサルデザインマップ

センサリーマップ

と見出しがあり、ユニバーサルデザインの文字から吹き出しが出ている。

- ・吹き出し内の説明: ボタンをクリックすると、以下のページが表示されます

「ユニバーサルデザイン情報」・「ユニバーサルデザインマップ」・「センサリーマップ」の項目がある

31ページ目

タイトルページ:②ユニバーサルデザイン情報(来館前に知りたい情報)

32ページ目

(タイトル)

ユニバーサルデザイン情報の情報項目一覧

(説明)

来館にあたりご不安をお持ち方の不安を解消できるよう、来館前に知りたい情報は「ユニバーサルデザイン情報」のウェブページに集約し、情報提供します。

(項目)

1. ユニバーサルデザインマップ
2. センサリーマップ
3. 視覚による情報が得にくい方へ
4. 聴覚による情報が得にくい方へ
5. アシスティング・ドッグをお連れの方へ
6. みんなトイレ

- 7. カームダウン・クールダウンルーム
- 8. 救護室
- 9. AED
- 10. 車椅子をご利用のお客さまへ
- 11. ベビーカーをご利用のお客さま
- 12. ユニバーサルデザインの取り組み

## 33ページ目

(タイトル)

ユニバーサルデザイン情報の項目と内容(1/5)

(説明)

私たちが提供する「ユニバーサルデザイン情報」の内容です。

みなさんが来館前に知りたい情報を考えました。

### 1. ユニバーサルデザインマップ

・円滑な移動や必要な設備を表示したマップです。

[ユニバーサルデザインマップへ移動](#)

### 2. センサリーマップ

・感覚が過敏な方でも安心してお過ごしいただけるように、音や光、においなどの刺激が強い場所や気分が悪くなった時に休息できる場所を表示したマップです。

[センサリーマップへ移動](#)

## 34ページ目

(タイトル)

ユニバーサルデザイン情報の項目と内容(2/5)

(説明)

### 3. 視覚による情報が得にくい方へ

以下のサポートがあります。

・「NaviLens(ナビレンス)」による展示ガイドを設置しています。

[詳しくはこちら→詳細ページ](#)

・音声ガイドをご用意しています。

[設置場所を示したページに移動](#)

・触知図を、エントランスをに入って左側の壁と、各トイレの入口に設置しています。

### 4. 聴覚による情報が得にくい方へ

・音声による文字情報を伴う映像コンテンツには、字幕表示しています。

## 35ページ目

(タイトル)

ユニバーサルデザイン情報の項目と内容(3/5)

(説明)

## 5. アシスティング・ドッグをお連れの方へ

- ・アシスティング・ドッグ(盲導犬・介助犬・聴導犬)同伴で入館いただけます。

## 6. カームダウン・クールダウンルーム

- ・1階、2階に各1部屋を設置しています。

[カームダウン・クールダウンルームの解説ページに移動](#)

## 7. みんなトイレ

- ・誰もが使いやすいをテーマとして整備したみんなトイレが1階にあります。

[みんなトイレの解説ページに移動](#)

## 8. 救護室

- ・1階に設置しています。具合が悪くなったら、スタッフにお申し出ください。

## 36ページ目

(タイトル)

ユニバーサルデザイン情報の項目と内容(4/5)

(説明)

## 9. AED

- ・設置しています。

[設置場所はこちら\(ユニバーサルデザインマップ\)](#)

## 10. 車椅子をご利用のお客さまへ

- ・貸出し用車椅子をご用意しております。係員にお申し出ください。

- ・車いすトイレは、すべてのトイレに設置しています。

[設置場所はこちら\(ユニバーサルデザインマップ\)](#)

## 11. 小さいお子さまをご同伴のお客さまへ

- ・1階のみんなトイレに併設しているファミリーコーナーに、授乳室、おむつ替えベッドなどを用意しています。

[設置場所はこちら\(ユニバーサルデザインマップ\)](#)

## 37ページ目

(タイトル)

ユニバーサルデザイン情報の項目と内容(5/5)

(説明)

## 12. ユニバーサルデザインの取り組み

- ・大阪ヘルスケアパビリオンでは、世界中から訪れるすべての来館者が、国・地域、文化、人種、性別、世代、障がいの有無に関わらず、楽しみ、快適に過ごせるパビリオンの実現をめざしています。

[詳しくはこちら→詳細ページ](#)

## 38ページ目

タイトルページ:③ユニバーサルデザインマップ

## 39ページ目

(タイトル)

### ③ユニバーサルデザインマップ

(説明)

・パビリオンを安全で快適に利用していただくための情報を掲載したマップです。

・通路の段差や傾斜の情報、バリアフリートイレの場所等を掲載しています。

(表示項目)

ピクトサインと表示項目名の一覧

左部分: 救護室、カムダウン・クールダウン・スロープ・階段・座れる場所

中央部分: トイレ 男女共用トイレ、車いすトイレ、男性専用トイレ、女性専用トイレ、フィッティングボード、介護用ベッド、オストメイト、ベビーチェア、おむつ替えベッド

右部分: ベビーチェア、おむつ替えベッド、キッズトイレ、授乳室

## 40ページ目

(タイトル)

### ③ユニバーサルデザインマップ

(図)

左部分にパビリオン 1 階の平面図、平面図のタイトル: パターン1 (展示区画なし)

平面図の中にピクトサインを配置

右部分にピクトサインと項目名の一覧

## 41ページ目

(タイトル)

### ③ユニバーサルデザインマップ

(図)

左部分にパビリオン 1 階の平面図、平面図のタイトル: パターン2 (展示区画あり)

平面図の中にピクトサインを配置

右部分にピクトサインと項目名の一覧

## 42ページ目

(タイトル)

### ③ユニバーサルデザインマップ

(図)

左部分にパビリオン2階の平面図、平面図のタイトル: パターン2 (展示区画あり)

平面図の中にピクトサインを配置

右部分にピクトサインと項目名の一覧

## 43ページ目

タイトルページ:④センサリーマップ

44ページ目

(タイトル)

④センサリーマップ

(説明)

「音」や「光」、「におい」などに敏感な方にも安心して過ごしていただけるように、ホームページにセンサリーマップを掲載します。

マップには、刺激のある場所の他に、休憩できる場所を表示します。

(表示項目)

ピクトサインと表示項目名の一覧

左部分:光刺激のつよい場所、大きい音がする場所、においのある場所、スピード感のある映像

右部分:カームダウン・クールダウンルーム、救護室、座れる場所

45ページ目

(タイトル)

④センサリーマップ

(図)

左部分にパビリオン1階の平面図、平面図の中にピクトサインを配置

右部分にピクトサインと項目名の一覧

46ページ目

(タイトル)

④センサリーマップ

(左図)

パビリオン1階の平面図、平面図の中にピクトサインを配置

(中央部分)

右矢印記号

(右図)

パビリオン1階のミライの都市の平面図に協賛企業様の展示ブースの情報についても、今回の意見を参考に検討を進めます。の説明文

47ページ目

(タイトル)

今回のディスカッションのポイント

(説明)

①情報を見つけやすいホームページ

・知りたい情報にアクセスしやすいですか

②ユニバーサルデザイン情報(来館前に知りたい情報)

- ・必要な情報はそろっていますか
- ・情報のタイトルや説明内容はわかりやすいですか

③ユニバーサルデザインマップ

- ・必要案情報はそろっていますか
- ・展示ブースの区画表示はあった方がわかりやすいですか (パターン1と2を比較)

④センサリーマップ

- ・必要な情報はそろっていますか
- ・刺激の種類はそろっていますか
- ・どの程度の刺激なら表示したほうよいでしょうか

48ページ目

タイトルページ:発表(各班5分)

49ページ目

タイトルページ:講評

50ページ目

タイトルページ:今後の予定

51ページ目

(タイトル)

UD 推進チーム今後のスケジュール

2024年から2025年のスケジュールが表になっています。

建築工事は10月31日で完成です。展示工事は11月1日から着手します。2月中旬からは協賛企業の展示設置工事の予定です。本日のワークショップ以降の予定は12月に運営マニュアル、事前情報提供案の確認。3月下旬スタッフ研修講師。内容は座学と現地。内容により対面又はオンライン形式

2025年4月から10月中旬までは会期中の検証、10月中旬以降には、取りまとめ、振り返り、フィードバックと記載している。

以上

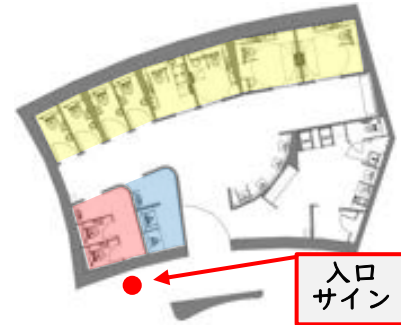
# 大阪ヘルスケアパビリオン みんなトイレ 入口サイン

一番左側のサインは、5月28日に開催したワークショップで、「みんなトイレの入り口サイン」について大阪パビリオンから説明したものを具体化したものになります。

でも、「このサインでは、何か違う・・・」、「みんなの気持ちがうまくサインに表現されていない・・・」、と、再度、大阪パビリオンのUDメンバーで考えなおしました。

「みんなで考えたトイレ名称は大きく表示した方がいい！」、「いろいろな人が同じラインまたは輪になることでみんなの気持ちを表現できるのでは！」と考えた案がA案とB案になります。

みんなトイレのサインとして、A案とB案どちらがいいか、ご意見ををお願いします。



前回WSで大阪パビリオンが説明した内容を具体化した案



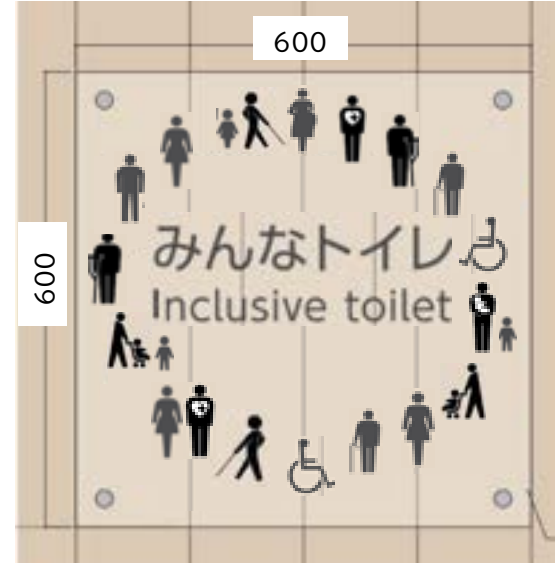
- ・ピクトを表示しているので直感的にトイレとわかりやすい
- ・みんなトイレのコンセプトが伝わりにくい

A案



- ・「みんな同じライン」に並んでいることでみんなトイレのコンセプトを表現

B案



- ・輪(リング)をモチーフにみんなトイレのコンセプトを表現

|      | 原案   | A案   | B案   |
|------|--|--|--|
| 良い意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>見慣れたピクトグラムを使用した方が良い。ただ、左の男女と右の図案のサイズの差が大きいので、もう少しバランスをとってほしい</li> <li>入口サインに必要なのは使用する人がこのトイレに何があるか、何ができるかをパッと見てわかること</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなトイレの文字とピクトグラムと意味が理解されやすい</li> <li>パッと見て理解できる</li> <li>みんな同じラインでというのが良い</li> <li>文字が大きくてわかりやすい。同じラインに並んでいるのも良い</li> <li>B案に比べて具体性が高い。斬新な感じ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>輪であることで連帯感を示せる<br/>待ち行列で互いのことを考え、譲り合い、人と人との関わり合いが表せている</li> <li>輪になっているのが素敵</li> <li>みんなトイレを囲んでいるというデザインが単純にいいなあと感じた</li> <li>ピクトが多様性を表現できていて良い。リングが万博会場のリングとリンクしている。</li> <li>色々な人達で構成する円がインクルーシブな社会の姿を表現できていて良い</li> <li>見えやすさ重視</li> </ul> |
| 悪い意見 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>個々のピクトが示す向きにバラつきがあるため並んでいると認識しづらい</li> <li>列が下にあるため、人がたくさんいる場合に車いすユーザーや子どもなど低い視線の人から見えるのが懸念される</li> <li>コンセプト重視ならピクトよりイラストが良い。ピクトを使用するなら同じ方向を向いて見えるように反転させる。サインの規格を横長にする、列の下にラインをつけ床面を表現する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなトイレの文字が浮いて見えて、周りのピクトグラムが柄のように見えて意味が繋がるのに意識して見て理解できる</li> <li>車いすピクトの配置の見やすさが気になる。真上や真下にピクトがあるのは「上下関係」を連想する人がいるかも。車いすピクトは比較的上に配置する。ピクトの内側か外側または両方ともに円を描き、ピクト自体は真下真上にならないよう角度を変える</li> <li>ピクトグラムが小さく見えにくい</li> </ul>                        |
| 投票   | 1名   | 2名   | 8名   |

- コンセプトはとても大事なものだけど、**トイレのサインの他にコンセプトボードがある**。入口にはわかりやすさを優先し、馴染みのあるピクトグラムを使用してほしい
- A案、B案はベビーチェア、キッズトイレ、授乳室があることがわからないのもつたいない。杖を使う方が専用トイレがあるのかと図柄を探しかねない。オストメイトに対応しているかわからない。B案は同じ図案が2つありすべてに目を通すことになりそう
- 文字がわかりやすい色になれば良い
- 抽象的でなく、具体的で可視性がある
- サインの目的が機能を示すものなのか、コンセプトを示すものなのかわからない**。機能を示すものならピクトをもっとわかりやすく示す方が良い
- 女性ピクトのボディラインが「女性」の身体構造を強調している。多様なSOGIESCを前提とするなら身体的特徴を強調しないピクトが望ましい
- LGBTQ+の存在が可視化されていない
- 実物を見ていないのでわからないが、ピクトのひとつひとつがある程度の距離からパッと見て何のピクトかわかるのか疑問。もう少し大きくできないか
- ピクトグラムを使う必要性がない。今回は安心安全に必要な十分に排泄を行うための空間があること、機能分散により細分化されたトイレの機能を伝えること。しかし、A案とB案は原案の介助用ベッド、授乳室、着替え台がなくなっている。デザインや見た目の統一のため伝える内容を削除し、サイズを小さくして視認性を下げているので、本来のピクトグラムの使用用途に反している。また、ピクトグラムは男性を中心に作られているため、腰のくびれや丸みを過剰に強化することで女性を表現している。車いすユーザーや内部障がい者、オストメイトは男性のピクトグラムをもとに作られていることから、男性が多く感じられるイメージが完成し、ジェンダー平等から遠いものになっている。障がい女性をはじめとする多様な女性の姿が不可視化されている。SOGIEの多様性、LGBTQ+も表現することは難しい。半分スカート半分ズボンで6色のレインボーで表現するピクトグラムの採用には消極的で、洋式便器を示すピクトグラムにオールジェンダーもしくは男女共用を並べて文字で表記するものが良いと思う。しかし、「いろんな人が同じラインまたは輪になることでみんなの気持ちを表現できるのでは」という思いとは異なる。デザイナーやイラストレーターにいろいろな人が同じラインまたは輪になる絵を注文し描いてもらうのがベストである。予算がないなら人のラインや輪による表現をあきらめて良いと思う。文字(どなたでもご利用いただけます)や色彩で多様性を示すこと+視認性を確保したピクトグラムによる案内が良い
- 盲導犬など介助犬の絵がない。みんなの中には含まれていないのか。少々さみしさを感じる



Osaka  
Healthcare  
Pavilion

カラダは  
ひとつ。  
ミライは  
むげん。

みんなトイレ  
サイン・コンセプトボード（案）のアイデア照会

2024年12月9日

公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン

# 今回のお願い

みんなトイレの入口サインとコンセプトボードのデザイン案にご意見ください。

入口サインのデザインについて、10月1日にメールにて、右の3案をお示しし、ご意見を伺いました。

以下のご意見を踏まえ、あらためてサインの検討をし、入口サインとコンセプトボードをあわせた案をお示しのうえ再度ご意見を伺うこととし、その旨を10月15日のワークショップでご説明しました。



コンセプト無



コンセプト表現



コンセプト表現

## (ご意見)

- ピクトの表示では、さまざまな人の表現に偏りや誤解を生じる。
- サインで伝えたいことが「機能」なのか「コンセプト」か、わからない。
- コンセプトボードが示されていないため、意見しにくい。

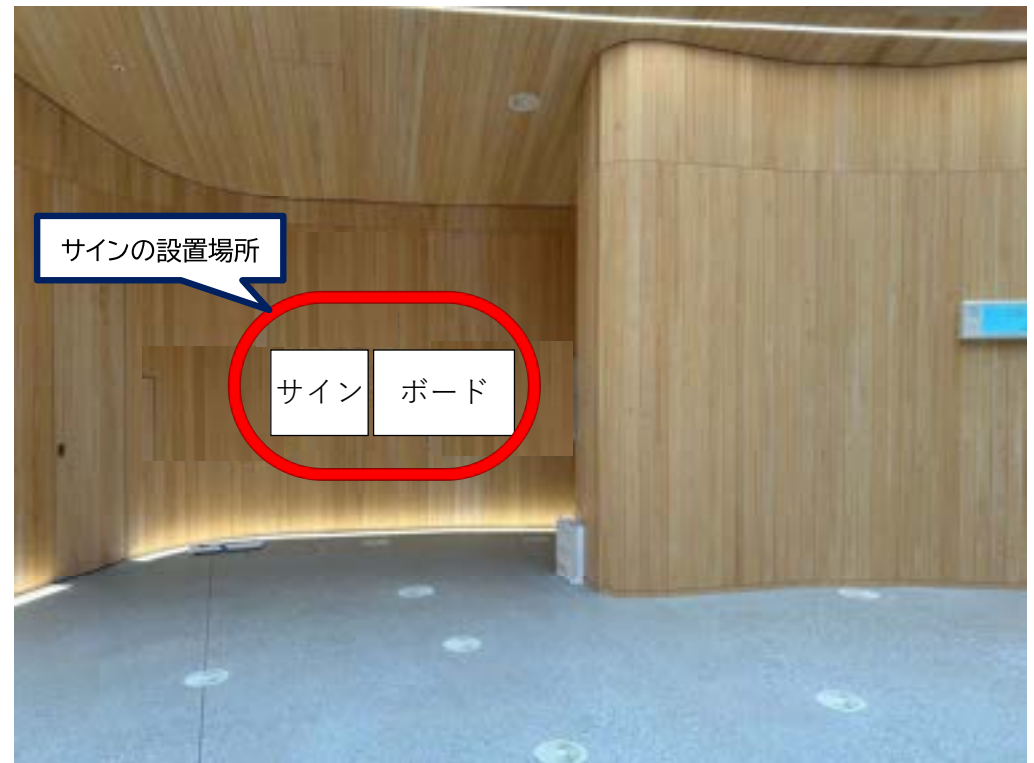
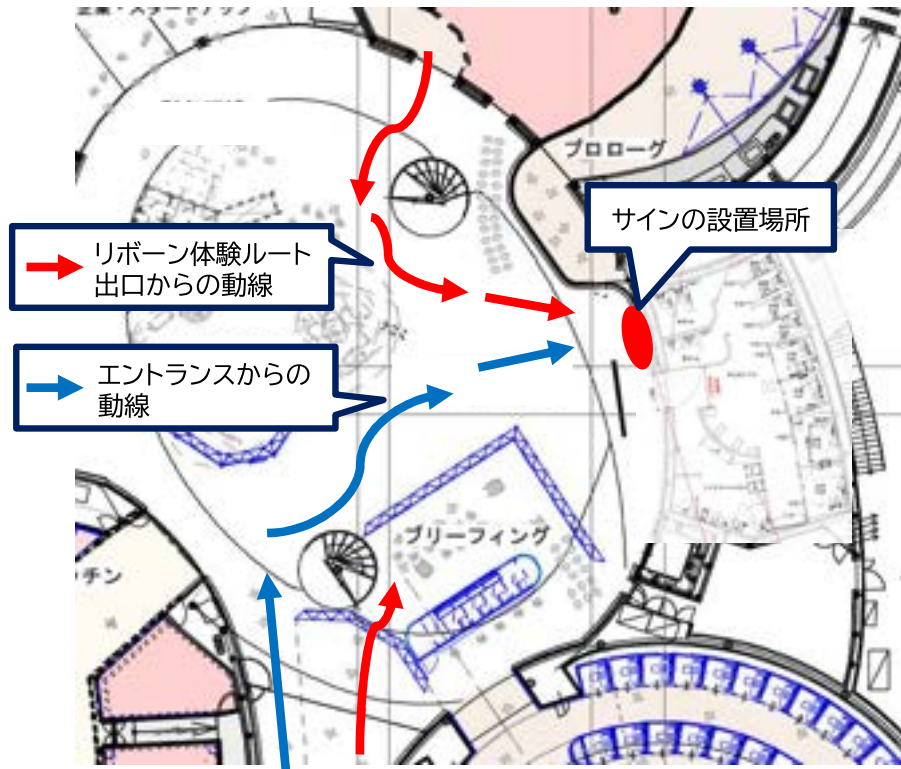
今回、サイン(入口サインとコンセプトボード)のデザイン案を作成しました。制作、設置にあたり、あらためてご意見やアイデアをくださるようお願いいたします。



# みんなトイレの入口サインとコンセプトボードのデザイン案

## サインの設置場所

2024年2月29日のワークショップで実物大平面図を用いて確認したとおり、利用者をゆるやかに誘導し自然と並び列ができる場所として、トイレ入口の左側壁面に設置します。



# みんなトイレの入口サインとコンセプトボードのデザイン案

## (1) サインのデザインの考え方

- 入口サインは、トイレの「場所」と「機能(ピクトサイン)」を伝える
- コンセプトボードは、利用される方がみんなトイレをきっかけにさまざまな視点から考える手助けとなるように、UD推進チームがみんなトイレに込めた「思い」を伝える

## (2) サインのデザイン案

- 以下がデザイン概要です。コンセプトボード(案)の詳細は次スライド以降をご確認ください。
- 入口サインとコンセプトボードは左右または上下に並べますが、設置高さや、ピクト・文字の大きさなどは、現地設置前に大阪パビリオンにおいて視認性を確認のうえ設置します。

### 入口サイン(案)

- ピクトは、みんなトイレにある機能がわかるように、全ての機能のピクトを表示することを基本とします

文字高さ  
16cm

みんなトイレ 

文字高さ  
8cm

Inclusive Toilet



### コンセプトボード(案)

- デザイン詳細は次のスライド以降をご確認ください
- ナビレンスによる説明も用意します
- 大きさは、縦90cm 横150~180cmとします

#### ①メッセージ

UD推進チームの  
メンバー

#### ②イラストと吹き出し

- 利用者の思っていることなどを吹き出しで伝える

#### ③みんなトイレプランの作成の取り組み

# コンセプトボードのデザイン案にご意見ををお願いします

コンセプトボード(案)です。  
右の方向性を実現できるようご意見ををお願いします。  
拡大表示版は次スライド以降にございます。

## 2月29日のワークショップで確認したコンセプトボードの方向性

- ・トイレの使用前にコンセプトをしっかりアピール!
- ・自然と譲り合いの気持ちが生まれることを期待!
- ・みんなトイレを利用している人の中で声掛けの輪が広がることを期待!

### みんなトイレの想い

#### ①メッセージ

わたしたちが普段何気なく使っているトイレ。でも、「使いにくいなあ」と、困っている人がいます。たとえば、

- 「トイレを使いたいときに空いていないことがある・・・」(車いす利用者)
- 「介助は必要だけど、人がいると落ち着かない・・・」(介助が必要な女性)
- 「娘と一緒にトイレに入ると、不思議な目で見られたりすることがある・・・」(知的障がいの方)
- 「どちらのトイレに入ればいいのかためらってしまう・・・」(LGBTQ)
- 「・・・」

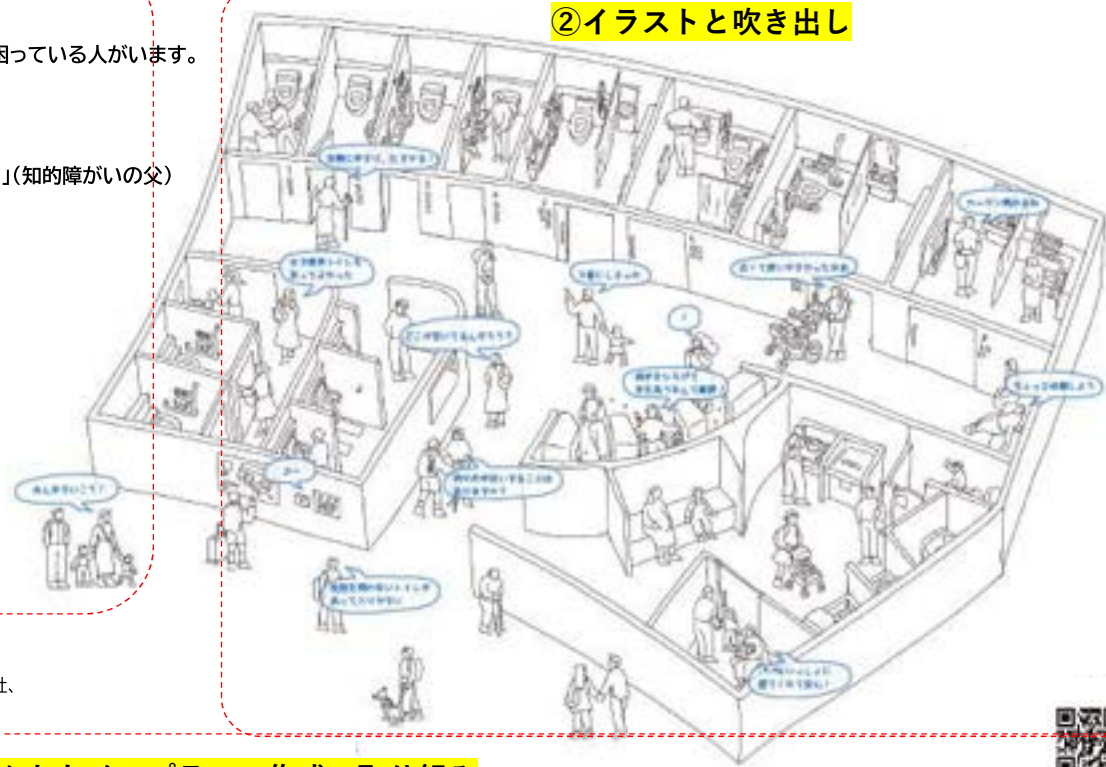
みんなトイレは

誰もが分け隔てなく自由に選んで、自然に使える、  
そんなトイレをめざして  
チームのみんなで悩みながら一緒に考えできたトイレです。

We usually use toilets without thinking about it. However, there are people who will find it difficult to use them. For example, people who need the assistance of the opposite sex cannot enter together. It is hard to tell from their appearance that they are having trouble, and people often ask, "Why is that person using this toilet?" They may look at you strangely or ask you why you are using the restroom. Therefore, they may hesitate to use the restroom or give up. Everyone should be able to use the restroom freely and naturally, without being separated from others. Aiming to create toilets where everyone can freely choose and use them naturally. This is a toilet that was conceived together with people in need, designers, and manufacturers.

### 大阪ヘルスケアパビリオンみんなトイレ推進チーム

エキスパート(東北福祉大学 石塚裕子教授、お困りごと当事者のみなさん 22名、  
作り手(株式会社サイエンス、株式会社シブタニ、株式会社竹中工務店、TOTO株式会社、  
株式会社東畑建築事務所、乃村工藝社共同企業体)、大阪パビリオン展示・建築チーム



#### ②イラストと吹き出し



### みんなでトイレプラン作成チャレンジ

#### ③みんなトイレプランの作成の取り組み

- ① トイレの困りごとを知る  
～TOTOテクニカルセンター(ショールーム)でディスカッション～  
・当事者ごとに困りごとを紹介  
・当事者それぞれにいろいろな困りごとがあることに気づき



せりふは次ページを参照

- ② みんなでプランを作る  
～3班に分かれてトイレのプランを作成～  
・出来上がったプランは班によって様々!  
・みんなの理想をひとつの形にすることのむつかしさに気づきました。



- ③ 使いやすさを確認する  
～実物大図面を床に敷いて、並び方やサインの位置を検討～  
・機能分散されたブース配置や空き状況がわかりやすいか  
・利用したいトイレにスムーズにとどりつけるか



# コンセプトボード ①メッセージ

コンセプトボード ①メッセージ(案)です。

みんなトイレで伝えたいことの概要をメッセージとして文章にしました。

「 」にみなさんから伺いしたお困りごとを記載しています。

表現をこう変えた方がよい、他にこんなお困りごと書いた方が伝わる、その他アイデアございましたらご送付ください。

ボードのスペースの都合、いただいたアイデアをすべて盛り込むことはむづかしいことご承知おきください。

## ①メッセージ

### みんなトイレの想い

わたしたちが普段何気なく使っているトイレ。でも、「使いにくいなあ」と、困っている人がいます。

たとえば、

「トイレを使いたいときに空いていないことがある・・・」(車いす利用者)

「介助は必要だけど、人がいると落ち着かない・・・」(介助が必要な女性)

「娘と一緒にトイレに入ると、不思議な目で見られたりすることがある・・・」(知的障がいの父)

「どちらのトイレに入ればいいのかためらってしまう・・・」(LGBTQ)

「・・・」

みんなトイレは

誰もが分け隔てなく自由に選んで、自然に使える、

そんなトイレをめざして

チームのみんなでお悩みながら一緒に考えできたトイレです。

# コンセプトボード②イラストと吹き出し

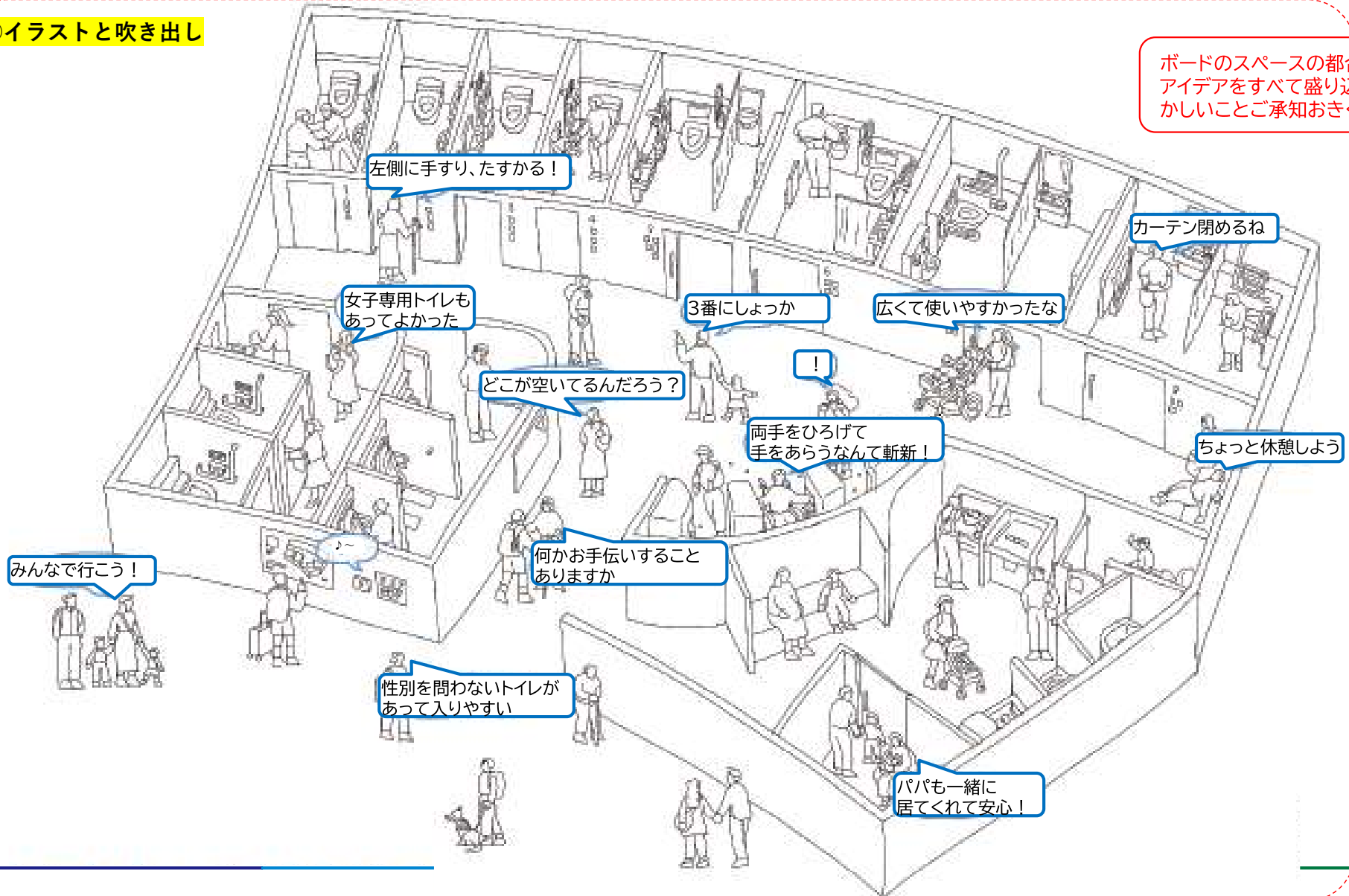
コンセプトボード ①イラストと吹き出し(案)です。

みんなトイレの機能をお伝えするとともに、みなさんに考えるきっかけになるよう吹き出しコメントを表示しました。

吹き出しコメントのアイデアございましたらご送付ください。

## ②イラストと吹き出し

ボードのスペースの都合、いただいたアイデアをすべて盛り込むことはむづかしいことご承知おきください。



# コンセプトボード ③みんなトイレプランの作成の取り組み

コンセプトボード ③みんなトイレプランの作成の取り組み(案)です。

みんなトイレがつくられた過程をお伝えすることで、さまざまな視点の提示ができればと考え表示しました。

吹き出しのブラッシュアップや別コメントのアイデアございましたらご送付ください。

ボードのスペースの都合、いただいたアイデアをすべて盛り込むことはむづかしいことご承知おきください。

## みんなでトイレプラン作成チャレンジ

### ③みんなトイレプランの作成の取り組み

#### ①トイレの困りごとを知る

～TOTOテクニカルセンター(ショールーム)でディスカッション～

- ・当事者ごとに困りごとを紹介
- ・当事者それぞれに違ういろいろな困りごとがあることに気づきました

介助ベッドが150cmだと、体の大きな人は使えないのでは

カーテンがあるとうれしいですね。はずかしがるので

大型電動車いすだと、回転できないかも

バギーで入って大型ベッドも使うので、普段は荷物を床に置きちゃう。広いスペースがありがたい

#### ②みんなでプランを作る

～3班に分かれてトイレのプランを作成～

- ・出来上がったプランは班によって様々!
- ・みんなの理想をひとつの形にするのむづかしさに気づきました

どんなトイレなら入りたいかな、と考えながらプランを作ると楽しい

お父さんが娘をトイレに連れていくこともある。親子で入りたいトイレは多目的トイレに限らない。

目が見えないと空きトイレを探すのは大変なんです

オールジェンダートイレを必要とする人は…

医療ケアに使うチューブや尿瓶を洗うから、手洗いと別のシンクがあるとうれしい

宗教上の理由で男女別トイレはあるかも…

ここに人が並ぶと車いすは通れなさそう

#### ③使いやすさを確認する

～実物大図面を床に敷いて、並び方やサインの位置を検討～

- ・機能分散されたブース配置や空き状況がわかりやすいか
- ・利用したいトイレにスムーズにたどりつけるか

コンセプトをどこで伝えるとわかりやすいだろう…

どこにサインがあるとわかりやすいかな

車いすでも通りやすいかな?

使いたい機能があるトイレはどこかわかるかな



ファミリールーム入口とトイレ前が近くて混雑しそう…



Osaka  
Healthcare  
Pavilion

カラダは  
ひとつ。  
ミライは  
むげん。

みんなトイレ  
サイン・コンセプトボード（案）のアイデア照会  
意見まとめ

## みんなトイレ 入口サイン (意見・見直し案)

入口サイン提示案(見直し前)

文字高さ  
16cm

みんなトイレ

文字高さ  
8cm

Inclusive Toilet




入口サイン見直し案

文字高さ  
16cm

みんなトイレ

文字高さ  
8cm

Inclusive Toilet

高さ  
26cm



ベビーケアルームにある  
おむつ交換台や調乳器の  
ピクトも追記

## ●意見

- ・案のとおりでいい、意見なし(11人/12人)
- ・色は遠くからも認識しやすい色をお願いします
- ・おむつ替えベッドとベビーケアルームのピクトの違いが分かりにくいかも。ファミリールームと明記するのはどうか



## ●対応

- ・色のシュミレーションアプリで、認識しやすさを確認済
- ・協会のサイン整備指針に掲載のベビーケアルームのピクト(JIS規格)とあわせた方がわかりやすいと考え、このピクトを採用していることから、原案のまま進める。

# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン提示案 (見直し前)

・大きさ 横150cm 縦90cm

## みんなトイレの想い

わたしたちが普段何気なく使っているトイレ。でも、「使いにくいなあ」と、困っている人がいます。たとえば、

- 「トイレを使いたいときに空いていないことがある・・・」(車いす利用者)
- 「介助は必要だけど、人がいると落ち着かない・・・」(介助が必要な女性)
- 「娘と一緒にトイレに入ると、不思議な目で見られたりすることがある・・・」(知的障がいの方)
- 「どちらのトイレに入ればいいのかためらってしまう・・・」(LGBTQ)
- 「・・・」

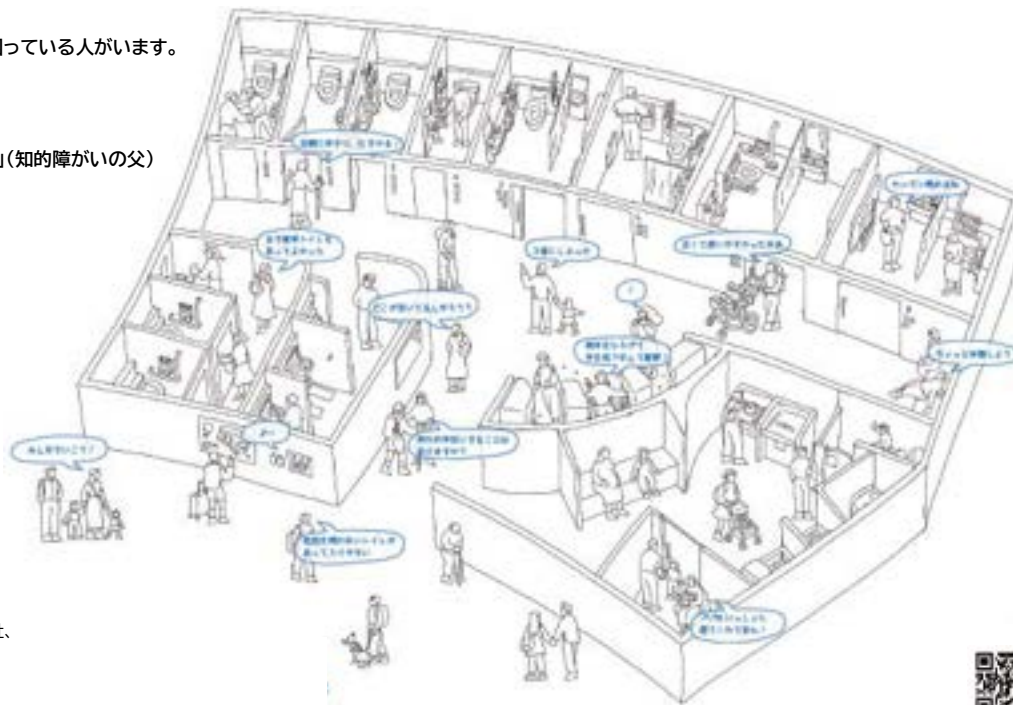
## みんなトイレは

誰もが分け隔てなく自由に選んで、自然に使える、そんなトイレをめざしてチームのみんなで悩みながら一緒に考えできたトイレです。

We usually use toilets without thinking about it. However, there are people who find it difficult to use them. For example, people who need the assistance of the opposite sex cannot enter together. It is hard to tell from their appearance that they are having trouble, and people often ask, "Why is that person using this toilet?" and "Why is that person using this bathroom?" They may look at you strangely or ask you why you are using the restroom. Therefore, they may hesitate to use the restroom or give up. Everyone should be able to use the restroom freely and naturally, without being separated from others. Aiming to create toilets where everyone can freely choose and use them naturally. This is a toilet that was conceived together with people in need, designers, and manufacturers.

## 大阪ヘルスケアパビリオンみんなトイレ推進チーム

エキスパート(東北福祉大学 石塚裕子教授、お困りごと当事者のみなさん 22名、作り手(株式会社サイエンス、株式会社シブタニ、株式会社竹中工務店、TOTO株式会社、株式会社東畑建築事務所、乃村工芸社共同企業体)、大阪パビリオン展示・建築チーム



## みんなでトイレプラン作成チャレンジ

- ① トイレの困りごとを知る  
 ~TOTOテクニカルセンター(ショールーム)でディスカッション~  
 ・当事者ごとに困りごとを紹介  
 ・当事者それぞれにいろいろな困りごとがあることに気づき



- ② みんなでプランを作る  
 ~3班に分かれてトイレのプランを作成~  
 ・出来上がったプランは班によって様々!  
 ・みんなの理想をひとつの形にすることのむかしさに気づきました。



- ③ 使いやすさを確認する  
 ~実物大図面を床に敷いて、並び方やサインの位置を検討~  
 ・機能分散されたブース配置や空き状況がわかりやすいか  
 ・利用したいトイレにスムーズにたどりつけるか



# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン見直し案

- ・大きさ 横180cm 縦90cm
- ・コンセプトを左側、右側にイラストとプロセスを記載

わたしたちが普段何気なく使っているトイレ。  
でも、「使いにくいなあ」と、困っている人がいます。  
たとえば、

- 「車いすで使えるトイレがいつも使用中でこまる」
- 「介助者の目が気になり(って)落ち着かない」
- 「父娘がいっしょにトイレに入ると、不思議な目で見られる」
- 「男女どちらの性別のトイレにも入りづらくてこまる」
- 「空いているトイレを探しているのに気づかれずに、抜かされてしまう」
- 「行きたい場所に、自分に必要な機能を備えたトイレが無くてあきらめた」

などなど、たくさんのお困りごことがあります。  
みんなトイレは、みんなが自由に選んで、自然に使える、  
そんなトイレを実現したくて、みんなで考えたトイレです。

We usually use toilets without thinking about it.  
However, there are people who find it difficult to use them.  
For example, people who need the assistance of the opposite sex cannot enter together. It is hard to tell from their appearance that they are having trouble, and people often ask you "Why is that person using the toilet?" or "Why is that person with a wheelchair using the toilet?" They may hesitate to use the restroom or give up. Everyone should be able to use the restroom freely and naturally, without being separated from others.  
Aiming to create toilets where everyone can freely choose and use them naturally. This is a toilet that was conceived together with people in need, designers, and manufacturers.

## 英文差し替え

大阪ヘルスケアパビリオンUD推進チーム  
お困りごと当事者のみなさん 22名（車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者、精神障がい者、LGBTQ、医療的ケア児、子育て世帯）  
作りて企業のみなさん  
大阪パビリオンのメンバー（ユニバーサルデザインのエキスパート、事務局、展示・建築の設計施工受託者）



## 「みんなでトイレプラン作成チャレンジ」のプロセス

- ① トイレの困りごとを知る
- ② みんなでプランを作る
- ③ 使いやすさを確認する

当事者みんなで困りごとを伝えあい  
ひとりひとり違う困りごとがあることに気づきました。



3つのグループが作ったプランは様々で  
みんなの想いを「かたち」にするむずかしさに気づきました。



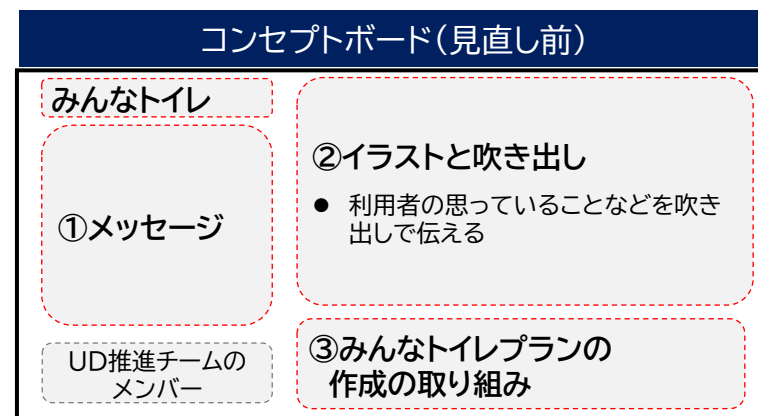
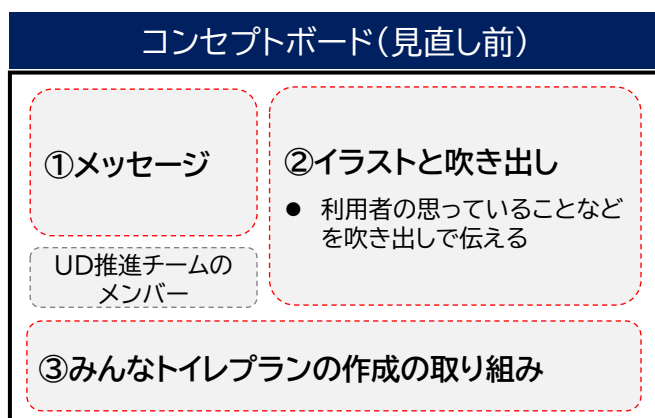
機能を分散したトイレの空き表示や並び方を、実物大図面を床に置いて  
確認してみると、案内表示だけでは何か足りないと感じました。



# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン案「全体」(意見) 参考

## ● 意見(全体)

- ・とっても素敵で画期的、どのようにみんなトイレが考えられて設置されているのか、そのプロセスがわかるもので、まさしくプロセスエコノミー※  
(※商品の制作過程を公開して収益化を図る手法)
- ・わかりやすい/わかりやすくとてもうまくまとまっている
- ・メッセージは、大事なことを書いてくれている
- ・吹き出しで私たちの想い(困りごとの解消)を表現されており、どのようなトイレか、イラストで俯瞰できて良い
- ・思いも含まれたコンセプトボード、面白い。イラストと吹き出し、これも見てわかりやすくていい



## 検討が必要な意見

- ・全体的に文字が多い。トイレ前では短い文章がいい。ナビレンスで聞くためにも短い方がいい。
- ・「私たちが目指したのはこういうトイレ」というコンセプトを大きく、簡潔に表現して、目に入るようにしてはどうか

例)横幅にドンとコンセプトと作成取組を「みんなトイレ～みんなの困りごとを知り、みんなで作成し、みんなで使いやすさを確認しました～」と、イラストと吹き出しを大きくしてはどうか

- ・和気あいあい、ワクワク楽しく進めたことを伝えてほしい
- ・作成の取り組みなど、詳細は大阪PVのHPを見てもらうQRコードを載せたら良い

## ● 対応

- ・文章やコメントをわかりやすい表現に修正
- ・ボードのサイズを横150cmから180cmに変更し、よりわかりやすい構成に変更
- ・プロセスを伝える写真に掲載するコメントを工夫
- ・QRコードをコンセプトボードに掲載し、大阪PVのHPで詳細情報を確認できる予定

# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン案①メッセージ（意見）参考

## みんなトイレの想い(見直し前)

わたしたちが普段何気なく使っているトイレ。  
でも、「使いにくいなあ」と、困っている人がいます。

たとえば、  
「トイレを使いたいときに空いていないことがある…」

**(車いす利用者)**

「介助は必要だけど、人がいると落ち着かない…」

**(介助が必要な女性)**

「娘と一緒にトイレに入ると、不思議な目で見られたりすることがある…」(知的障がいのお父)

**「どちらのトイレに入ればいいのかためらってしまう…」(LGBTQ)**

「……」

みんなトイレは

**誰もが分け隔てなく自由に選んで、自然に使える、**  
そんなトイレをめざして

チームのみんなでお互いに**一緒に考えできた**トイレです。

## (修正案)※「みんなトイレの想い」のタイトルは削除

わたしたちが普段何気なく使っているトイレ。

でも、「使いにくいなあ」と、困っている人がいます。

たとえば、

**「車いすで使えるトイレがいつも使用中でこまる」**

**「介助者の目が気になり落ち着かない」**

**「父娘がいっしょにトイレに入ると、不思議な目で見られることがある」**

**「男女どちらの性別のトイレにも入りづらくてこまる」**

**「空いているトイレを探しているのに、気づかれずに抜かされてしまう」**

**「行きたい場所に、自分に必要な機能を備えたトイレが無くてあきらめた」**

などなど、たくさんのお困りごことがあります。

みんなトイレは、**みんなが自由に選んで、自然に使える、**

そんなトイレを実現したくて、**みんなで考えた**トイレです。

### ● 意見

- ・譲り合ってほしい、互いを大事に思って繋がり合ってほしいという願いを前面に出した方がわかりやすい

★みんなの意見でいろんなトイレを作ったらいい

★でも、どうやって、並ぶの…？

自分に合ったトイレの順番が来るまで、ずっと並ばないといけないの？

★みんな、声かけあったり、ゆずりあったりできないかな…

互いを大事にできる人間の繋がりを新たに作れないか、小さいけど、壮大な実験です。

### ● 対応

- ・コンセプトボードのメッセージは簡潔な文章とし、HPでもっと具体的にコンセプトを記載することを検討

例)自分の使いたいトイレがあって、人の目を気にしたりすることなく、ストレスフリーで使えるトイレ。みんなで考えた「みんなトイレ」を使った人を通じて「みんなトイレにこめた思い」が会期中だけでなく、閉幕後にも世界中に広がっていくことを願っています。

- ・コンセプトに込めた願いを形にしたイラスト(ゆずり合っているイラスト)を追加

# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン案①メッセージ（意見）参考

## ● 意見

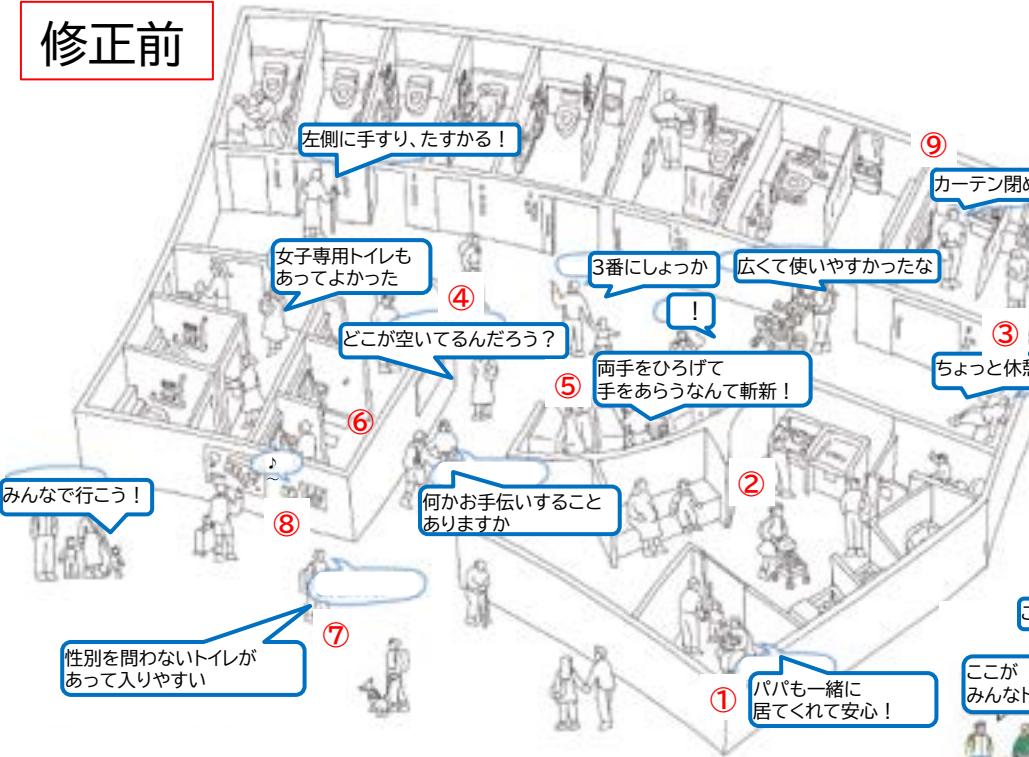
- 4事例では少ない。もっと多様な意見があったのもったいない。  
トイレで困る人はたくさんいる
- 障がい者のことを知らない人には説明がいる。ストレートに端的に短い文章で書いた方がいい  
(ナビレンスでも聞きやすい)
- 台詞のあとに属性を書くことが、その属性すべてを代表している印象を受ける  
属性や障害などを書くことが問題の単純化や抽象化につながらないよう、あるひとりがそういう困りごとを持っているという理解につながるような表現を提案
- 「この問題で悩んでいるなら、どんなトイレにすればその課題を解消できるだろうか」と来場者に深く考えてもらう機会になってほしい
- 「トイレを使いたいときに空いていないことがある・・・」(車いす利用者)
  - 「車いすのまま入ることができる広いトイレは長時間待つことが多い」
  - 「車いすユーザーなので車いすトイレを使いたい空いていないことがよくある」
  - 「車いすで入れるトイレがいつも使用中で困る」(車いす利用者)
- 「娘と一緒に・・・」(知的障がいの父)は、父と娘、どちらに知的障がいがあるのかわからない
- NEW 「娘に手伝ってほしいときに、男便所に娘にきてもらうのは抵抗がある」(男性障がい者)
- 「介助は必要だけど、人がいると落ち着かない・・・」(介助が必要な女性)
  - 「介助者の目が気になり落ち着かない」
- 「どちらのトイレに入ればいいのかためらってしまう・・・」(LGBTQ)
  - 「男女どちらの性別のトイレにも入りづらいので困っている。」
  - 「男か、女か、選べと言われても困る」(LGBTQ)
- NEW 「空室がわからず立ち止まっていると、抜かされてしまう」(見えない・見えにくい人)
- NEW 「自分の身体に合ったトイレがどのブースか、わからない」(半身まひ)
- 「分け隔てなく」の文言はなくてもよい
- 「チームのみんなでお悩みながら一緒に考えできたトイレです」について
  - 「て」を入れた方がよみやすくわかりやすい
  - 「一緒に考えてきたトイレ」か「一緒に考えてできたトイレ」か「一緒に考え、できたトイレ」か意味がわかりにくい

## ● 対応

- 事例を4事例から6事例に増やす
- メンバーからの意見を参考に、属性は削除し、わかりやすい文章に修正
- 「車いすで使えるトイレがいつも使用中でこまる」に変更
- 「父娘がいっしょにトイレにはいると、不思議な目でみられることがある」に変更、いろんな人にあてはまると考え、文中に属性は記載しない。
- 「介助者の目が気になり落ち着かない」に変更
- 「男女どちらの性別のトイレにも入りづらいのでこまる」に変更
- 「見えない・見えにくい人」の困りごと事例を追加
- 案を参考に「行きたい場所に、自分に必要な機能を備えたトイレが無くてあきらめた」を追加。障がいによって使いやすいトイレが異なること、トイレで行く場所を選ばざるを得ないという話から。
- 「分け隔てなく」は削除し、「困っている人も困っていない人もみんな」という気持ちをこめて「みんな」に変更
- 「みんなで考えたトイレ」に変更

# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン案②イラストと吹き出し（意見）参考

## 修正前



## 修正後



「みんなでトイレプラン作成チャレンジ」のプロセス

- 意見(共通)
  - ・イラストの吹き出しの漢字にルビがほしい可能であれば分かち書きにしてほしい（それによる意味切れ改行が崩れることは懸念）
  - ・セリフは「～だな」とか「～しやすいな」などの表現がいいのでは？
  - ・英語表記が必要では？

- 対応
  - ・ルビを入れる。分かち書きの対応はしないが、なるべく短いことばやさしい言葉を使う
  - ・短い方が読みやすいという意見もあり、セリフによっては感想ではないものもあることから、セリフに応じて精査
  - ・ルビ+英語表記をすると絵が見えなくなる可能性があるため、日本語のみとし、HPでの英語版のコンセプトボードを掲載する。

## みんなトイレ コンセプトボードのデザイン案②イラストと吹き出し（意見）参考

## ● イラスト(セリフ)

- ①授乳室の母「パパも一緒に居てくれて安心！」→「パパも一緒に助かる！」/「パパも一緒だとグズらなくて助かる！」 →「パパも一緒に安心」
- ②ベンチに座っている男の子とお母さん →男の子とおばあちゃん「おむつ替えの間、おばあちゃんと待ってる♪」  
→女性のみのベビーケアルームが多い中、みんなトイレは性別関係なく使えるため、お父さんが赤ちゃんにミルクをあげているイラストに変更
- ③「ちょっと休憩しよう」 →「ベンチがあるから待ち合わせできるね」みたいなコメント(発達障害の視点) →イラストを変更し「ここで待っててね」
- ④「どこが空いてるんだろう？」 ←何を見ての発言かわかりにくい →サインージをもう少しわかるように表現  
・外見では困っているとわからない「目が見えにくい人」が困っていることを表現してほしい。困っているのは白杖を持つ人だけではない。高齢者や「視覚障がい」とまではいかない人も困っている。弱視の人はサインージで空きトイレがわかったとしても、実際に空いている扉がわからない。

→その他意見の「行ってほしいセリフ」と組み合わせ、ゆずり合いと困っていることが分かりにくい人を表現

設定 A:トイレ1~4を使いたい人…ブース7が先にあいたので、後ろに並んでいる車いすの人に声をかける。  
B:目の見えにくい人…サインージを見ても、どこが空いているかわからず、立ち止まり困っている。  
C:困ってることに気が付いた人…Bさんが困っていることに気づいて声をかける。  
D:車いすの人…並んでいる列がなかなか進まず、なんでだろう？と不思議に思っている。

- ⑤「両手をひろげて手を洗うなんて斬新！」→とてもいい →「斬新」ということばが難しいので、「なんだこれは！らくちん♪」に変更
- ⑥「仕切り付き男子用小便器もあってよかった」  
プライベート空感が担保される仕切りがないと男性用小便器が使えない人もいる。発達障害にもやさしいトイレだからこそ、ぜひ検討を  
→「仕切りがあると落ちつくな」のセリフを追記
- ⑦「性別を問わないトイレがあって入りやすい」→「性別を気にしなくていいので入りやすい」「男か女か、外見でジロジロ見られないので安心してトイレを使えて嬉しい」※より心理的なバリアについてとりあつかってほしい →「性別を問われないトイレがあって入りやすい」
- ⑧「♪～」ではわからない →「音声でも、地図でも空き部屋がわかって助かる。」と書いたほうがいい →音声で空きはわからない。「♪」を削除
- ⑨「異性介助でも入れるトイレがある」 →「カーテン閉めるね」のセリフがあるので、女性の方にも「落ちつくな」のセリフを入れる。

その他・「いろんなトイレがあるのっていいね」 ※コンセプトをさす文言を入れたい

- どこかに言ってほしい言葉を入れてもいいと思う
- 「自分にあったトイレを探せていいね。まず、お目当てのトイレをチェック！」
- 「車椅子トイレ空きましたよ。先にどうぞ。」
- 「左側にてすりがついているトイレが、ありましたよ！」
- 「ベビーカーなら、こちらのトイレが広いですよ。」
- 「この小便器にはてすりと点字ブロックがありますよ。」
- 「家族用のトイレは右手にあります。」

→ 困りごとを知ってゆずりあいの気持ちや、困っている人への声かけの輪が生まれてほしいという「みんなトイレに込めた思い」を表現するため、「列に並んでいる人がゆずりあう」をイラストに表現する

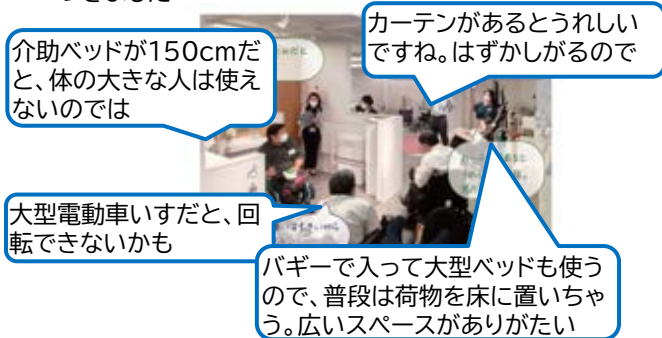
# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン案「取り組み」（意見）

## みんなでトイレプラン作成チャレンジ

### ①トイレの困りごとを知る

～ショールームでディスカッション～

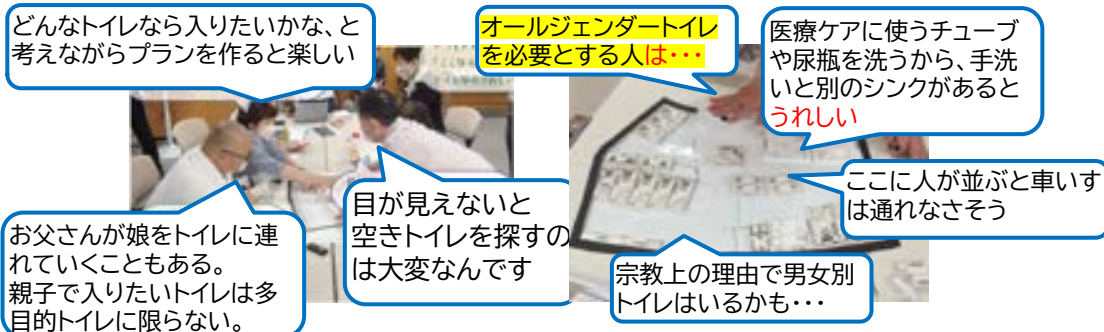
- ・当事者ごとに困りごとを紹介
- ・当事者それぞれに違ういろんな困りごとがあることに気づきました



### ②みんなでプランを作る

～3班に分かれてトイレのプランを作成～

- ・出来上がったプランは班によって様々！
- ・みんなの理想をひとつの形にすることのむづかしさに気づきました



### ③使いやすさを確認する

～実物大図面を床に敷いて、並び方やサインの位置を検討～

- ・機能分散されたブース配置や空き状況がわかりやすいか
- ・利用したいトイレにスムーズにたどりつけるか



### ●意見

- ・メッセージと①をひとつにまとめてはどうか。吹き出しと重複する内容になっている。  
➡**取り組みのプロセスは必要と考える。**
- ・吹き出しでなく、端的な文章で書いた方がいい。吹き出しがあると、メッセージとの違いがわかりにくい。  
➡**みんなでわきあいあいと楽しく取り組んだことを伝えるために必要。セリフを見直す。**
- ・③「オールジェンダートイレを必要としている人は・・・」はちゃんと主張として完結させてほしい。「オールジェンダートイレを必要としている人がいる」と書いてほしい。  
➡**意見を参考にセリフを修正**

# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン案「取り組み」（修正）

## みんなでトイレプラン作成チャレンジのプロセス

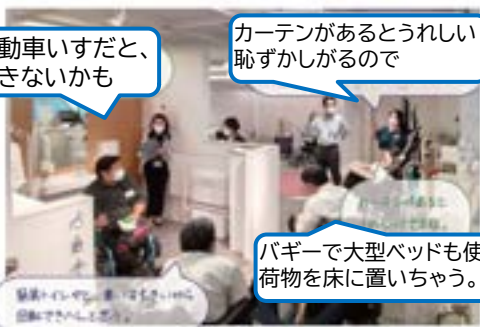
### ①トイレの困りごとを知る

当事者みんなで困りごとを紹介しあい、それぞれに違ういろんな困りごとに気づきました

大型電動車いすだと、回転できないかも

カーテンがあるとうれしい  
恥ずかしがるので

バギーで大型ベッドも使うので、荷物を床に置いてしまう。



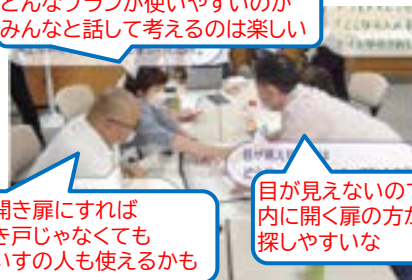
### ②みんなでプランを考える

3つのグループが作ったプランは様々で  
みんなの想いを「かたち」にするむずかしさに気づきました

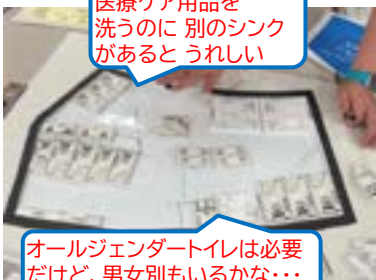
どんなプランが使いやすいのか  
みんなと話して考えるのは楽しい

外開き扉にすれば  
引き戸じゃなくても  
車いすの人も使えるかも

目が見えないので  
内に開く扉の方が  
探しやすいな



医療ケア用品を  
洗うのに別のシンク  
があると嬉しい



オールジェンダートイレは必要  
だけど、男女別もいるかな...

### ③使いやすさを確認する

機能を分散したトイレの空き表示や並び方を、実物大図面を床に敷いて検証  
してみると、案内表示だけでは足りないことに気づきました

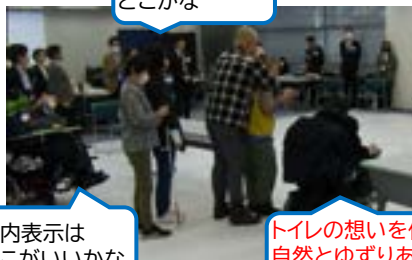
通路の幅は  
大丈夫ですか？

すれ違いできるかな？



少し狭いかも...

オストメイトは  
どこかな



案内表示は  
どこがいいかな

トイレの想いを伝えれば、  
自然とゆずりあいや声掛け  
が生まれませんか？

# みんなトイレ コンセプトボードのデザイン案「その他」(意見)

- その他

関西国際空港のトイレにいいねボタンのようなものがありました。それを出入口に設置して、評価をもらうのも良いかも。

「Customer Feedback Device」関西国際  
空港HPより

[https://www.kansai-airports.co.jp/news/2018/2683/J190306\\_PressRelease\\_CustomerFeedbackDevice.pdf](https://www.kansai-airports.co.jp/news/2018/2683/J190306_PressRelease_CustomerFeedbackDevice.pdf)

お客様満足度をリアルタイムに測定できる  
「Customer Feedback Device」を  
国内空港で初導入

- 主な設置場所：チェックインカウンター付近、保安検査場、出国審査場付近、案内カウンター、トイレ、授乳室、キッズコーナー、喫煙ルーム、祈祷室、駐車場 など



「Customer Feedback Device」設置イメージ画像

# みんなトイレ

## Inclusive Toilet

わたしたちが普段何気なく使っているトイレ。でも、「使いにくいなあ」と、困っている人がいます。

たとえば、

「車いすで使えるトイレがいつも使用中でこまる」

「介助者の目が気になり落ち着かない」

「父娘がいっしょにトイレに入ると、不思議な目で見られることがある」

「男女どちらの性別のトイレにも入りづらい」

「空いているトイレを探しているのに、気づかれずに抜かされてしまう」

「行きたい場所に、自分に必要な機能を備えたトイレがなくてあきらめた」

などなど、たくさんのお困りごことがあります。

みんなトイレは、みんなが自由に選んで自然に使える、

そんなトイレを実現したくて、みんなで考えたトイレです。

We use the bathroom every day without thinking about it.

However, some people have trouble using it.

For example,

“Wheelchair-accessible bathrooms are always occupied.”

“I feel uneasy because I’m worried about the caregiver’s presence.”

“As a father, when my daughter and I enter the bathroom together, we sometimes get strange looks.”

“I find it difficult to use either the men’s or women’s bathroom.”

“Even when I’m looking for an available bathroom, I get overtaken by someone else.”

“I gave up going to places because they don’t have bathrooms with the necessary functions for me.”

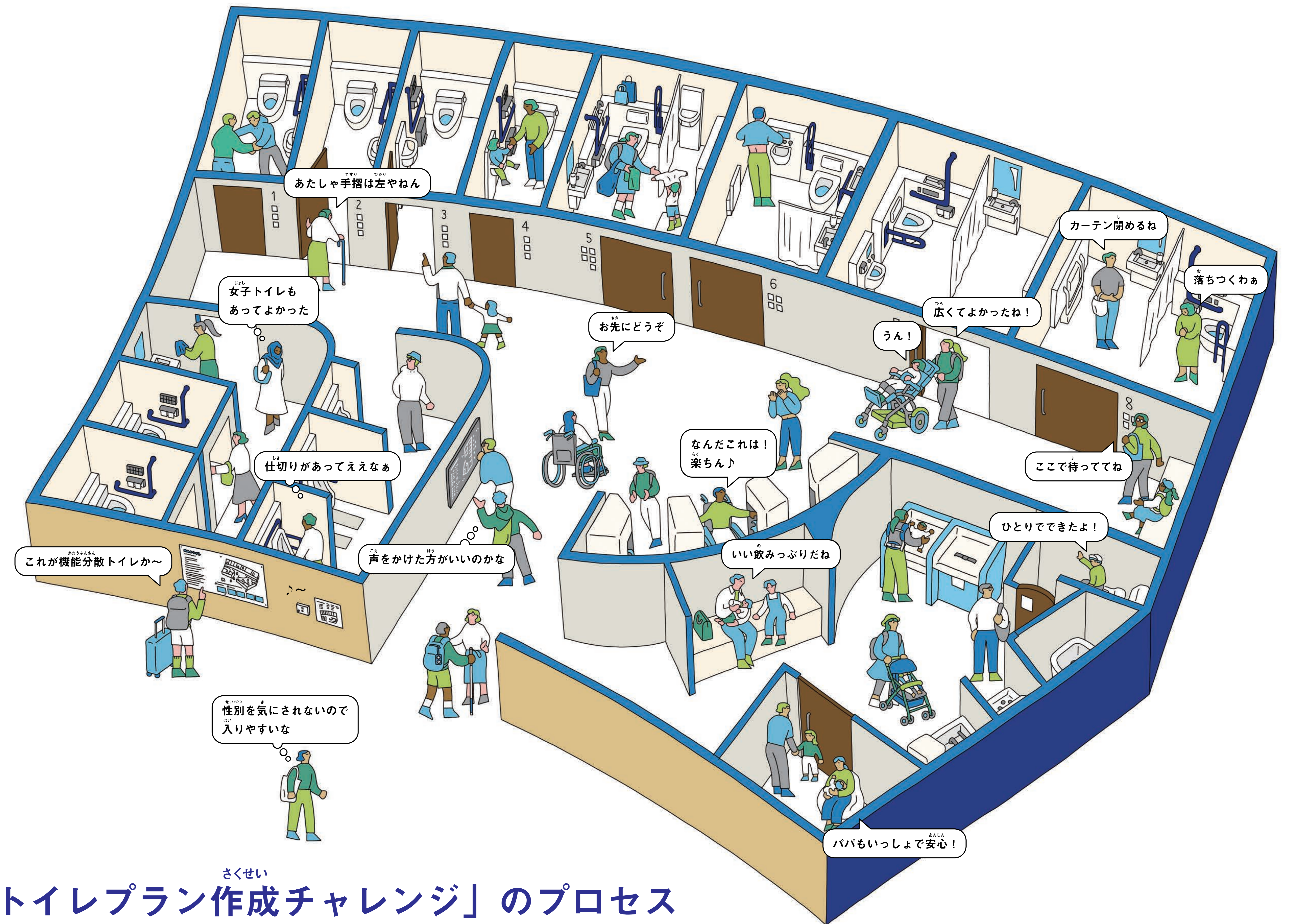
…and many other such issues. Although we use the bathroom without thinking about it, there are many people who find it difficult.

Inclusive Bathroom is a bathroom that we all designed so everyone can choose it freely and use it naturally.

大阪ヘルスケアパビリオン UD 推進チーム

お困りごと当事者のみなさん 22名 (車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者、精神障がい者、知的障がい者、発達障がい者、LGBTQ、医療的ケア児、子育て世帯) 作り手企業のみなさん

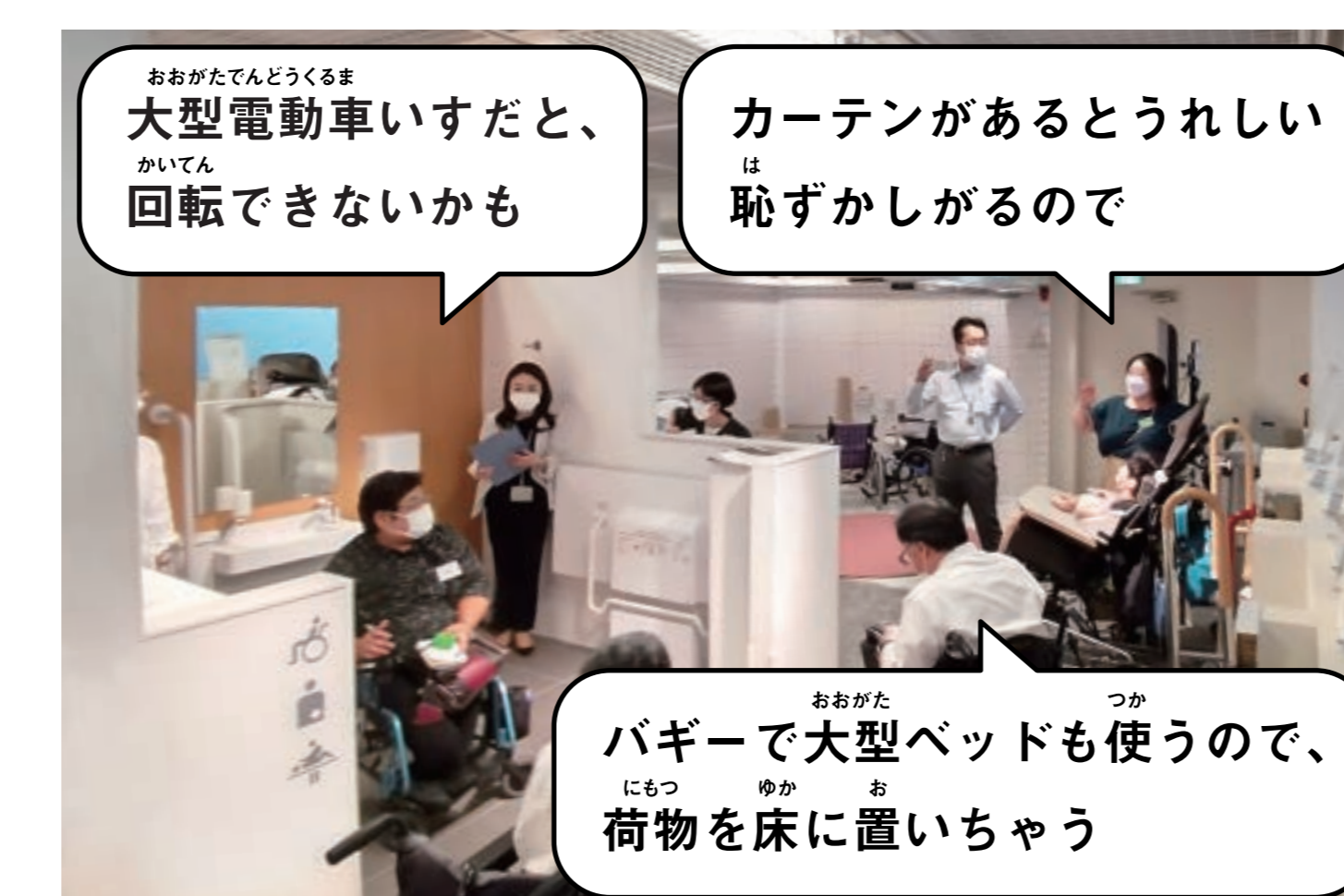
大阪パビリオンのメンバー (ユニバーサルデザインのエキスパート、事務局、展示・建築の設計施工受託者)



## 「みんなでトイレプラン作成チャレンジ」のプロセス

### ① トイレの困りごとを知る

当事者みんなで困りごとを伝えあい、ひとりひとり違う困りごとがあると気づきました。



### ② みんなでプランを考える

3つのグループが作ったプランは様々なみんなの想いを「かたち」にするむずかしさに気づきました。



### ③ 使いやすさを確認する

機能を分散したトイレの空き表示や並び方を、実物大図面を床に置いて確認してみると、案内表示だけでは何か足りないと感じました。



# Inclusive Toilet

We use the bathroom every day without thinking about it. However, some people have trouble using it.

For example,

“Wheelchair-accessible bathrooms are always occupied.”

“I feel uneasy because I’m worried about the caregiver’s presence.”

“As a father, when my daughter and I enter the bathroom together, we sometimes get strange looks.”

“I find it difficult to use either the men’s or women’s bathroom.”

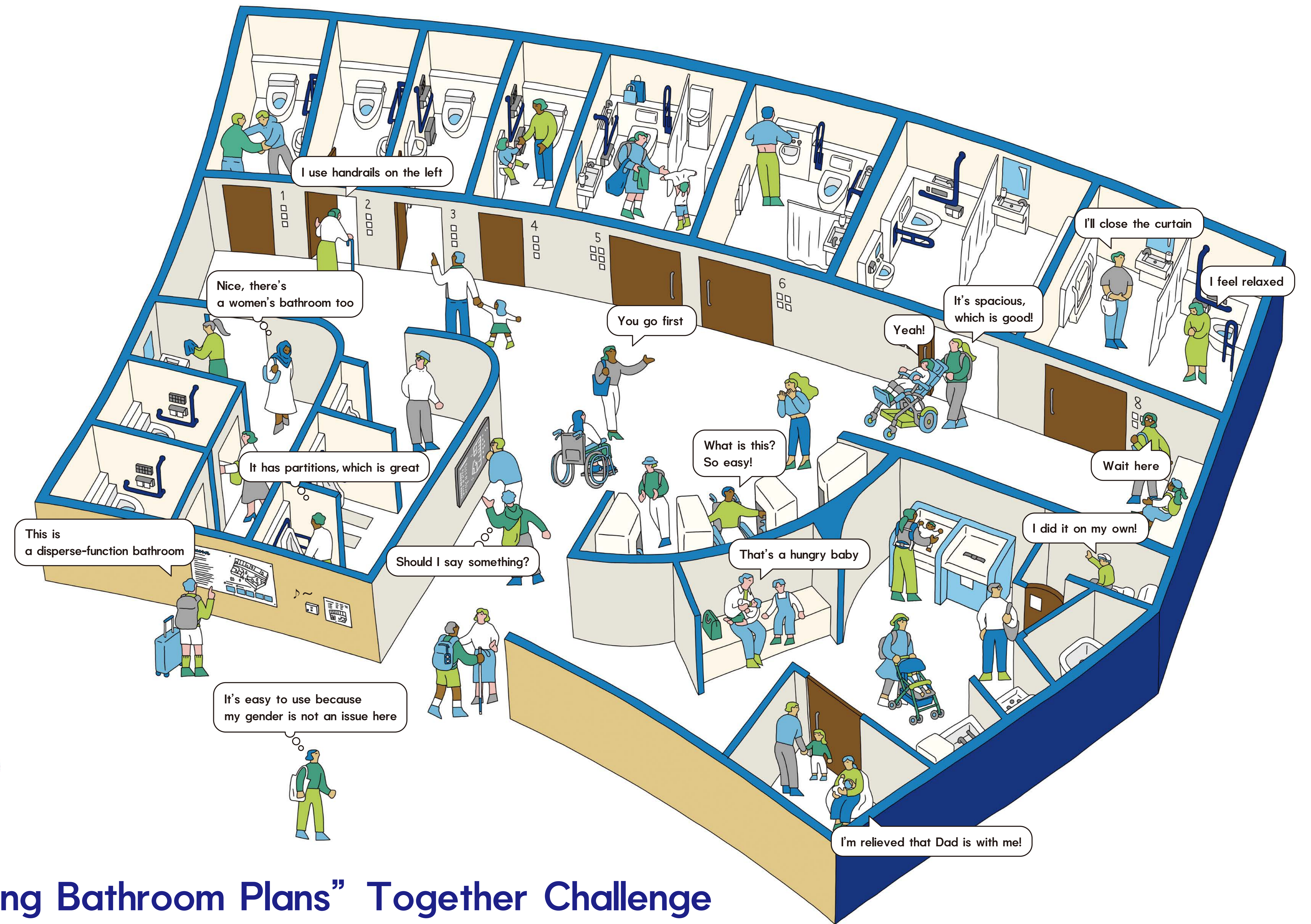
“Even when I’m looking for an available bathroom, I get overtaken by someone else.”

“I gave up going to places because they don’t have bathrooms with the necessary functions for me.”

...and many other such issues.

Although we use the bathroom without thinking about it, there are many people who find it difficult.

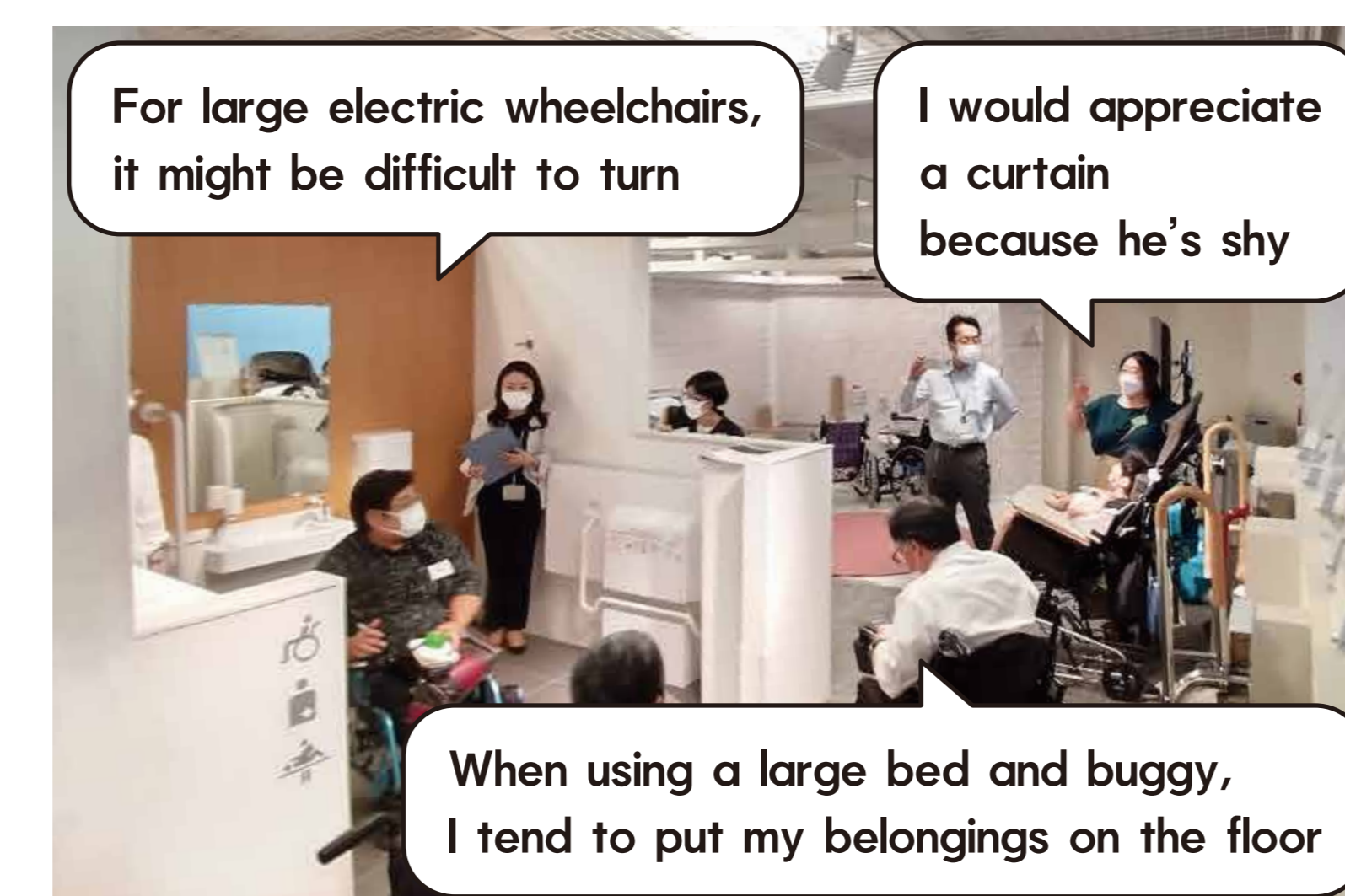
Inclusive Toilet is a bathroom that we all designed so everyone can choose it freely and use it naturally.



## Process of the “Creating Bathroom Plans” Together Challenge

### ① Understanding Bathroom-Related Issues

Everyone shared their bathroom concerns, and we realized everyone has different problems.



### ② Planning Together

Various plans created by three groups led us to notice the difficulties in making everyone’s wishes would come true.



### ③ Confirming Ease of Use

By placing life-sized drawings of the separate function bathrooms on the floor, we realized that guide markers alone are not sufficient.

